

大垣市エコ水都環境プラン
実績報告 2023

令和 6 年 10 月

大 垣 市

目 次

第1章 エコ水都環境プランの概要

1 計画の趣旨	1
2 計画の位置づけ	4
3 計画の期間	5
4 計画の体系	6

第2章 エコ水都環境プランの評価

1 評価の趣旨	31
2 評価の方法	32
3 評価結果の概要	33

第3章 大垣市の取り組みに対する市民アンケート調査結果（抜粋）

1 調査結果の概要	63
2 調査結果の分析	64

第1章 エコ水都環境プランの概要

1 計画の趣旨

本市では、平成12年3月に「ハリンコが泳ぎ、ホテルが舞う 水都・大垣」を市の望ましい環境像とする「大垣市環境基本計画」を策定し、その後、市町合併など社会情勢の変化などにより計画の改訂を行い、平成21年3月に「大垣市環境基本計画改訂版」を策定しました。

さらに、平成25年3月には、「大垣市環境基本計画改訂版（後期計画）」を策定し、また、これらの計画の行動計画としての位置づけである「エコ水都アクションプラン」について、平成21年3月に第1次、平成25年3月には第2次計画を策定し、様々な環境施策を積極的に実施してきました。

また、平成27年の国連サミットでは、「持続可能な開発目標」（SDGs : Sustainable Development Goals）を中核とする「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が全会一致で採択されました。

SDGsは、先進国、途上国すべての国を対象に、経済、社会、環境の3つの側面のバランスがとれた社会を目指す世界共通の目標として、17のゴールとその課題ごとに設定された169の達成基準から構成されています。

それらは、貧困や飢餓から環境問題、経済成長やジェンダーに至る広範な課題を網羅しており、豊かさを追求しながら地球環境を守り、そして「誰一人取り残さない」ことを強調し、人々が人間らしく暮らしていくための社会的基盤を令和12年までに達成することが目標とされています。

以上のことを踏まえ、「大垣市未来ビジョン基本構想（平成30年度～令和29年度）」の施策のひとつである「みんなが安心するまちづくり（生活環境）」の実現を目指して、本市の環境施策の総合的かつ計画的な推進を図ることを目的として、平成30年3月に大垣市エコ水都環境プランを策定しました。

〔大垣市環境基本条例における計画の位置づけ〕

○ 大垣市環境基本条例（抜粋）

第2章 環境の保全及び創出

（環境基本計画）

第7条 市長は、環境の保全及び創出に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、環境基本計画及び環境実行計画（以下「基本計画等」という。）を定めるものとする。

2 市長は、基本計画等を定めるに当たっては、あらかじめ市民等の意見を聴かなければならない。

3 市長は、基本計画等を定めるに当たっては、次章に規定する大垣市環境審議会（以下「審議会」という。）に諮問する。

4 市長は、基本計画等を定めたときは、遅滞なくこれを公表しなければならない。

5 前3項の規定は、基本計画等の変更について準用する。

〔大垣市未来ビジョン基本構想における「環境施策」の位置づけ〕

○ 大垣市未来ビジョン基本構想

4 未来のピース（抜粋）

(3) みんなが安心するまち（ピース3：生活環境）

③ 自然との共生と環境保全

【自然とともにくらす】

太陽光エネルギーをはじめとするさまざまな自然エネルギーは、日々のくらしを営むための重要なエネルギーとなっています。

また、エネルギーの研究は発展を続け、バイオエネルギーなどの新しいエネルギーが実用化され、公共施設や住宅、工場、商業施設などへの導入が進むとともに、省エネルギーをはじめとした環境負荷の低減や、自然との共生への意識向上も図られています。

【良好な環境の保全】

エネルギー意識の向上は、ごみ問題に対する意識向上にもつながっています。物を使い捨てる時代から、良い物を長く使うようになっていきます。

また、これまで廃棄物とされていたものが資源になるなど、資源としての再利用が進み、資源循環が形成されることで、ごみの量は低減しています。

同時に、本市の誇るきれいな水を守る取り組みも進められ、自噴水や市の魚であるハリヨが生き生きと泳ぐ水辺環境が市内に形成され、市民の憩いの場となっています。

〔SDGsの17の目標〕



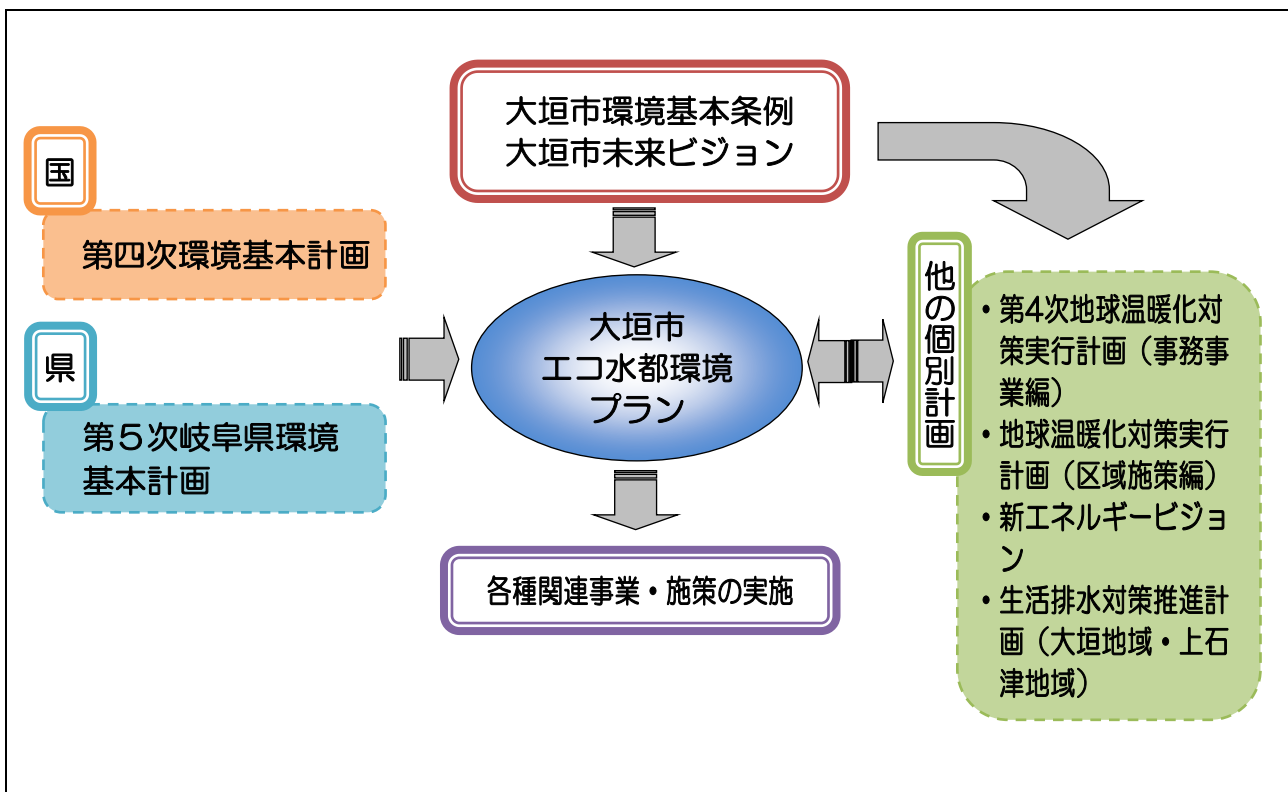
2 計画の位置づけ

本計画は、大垣市環境基本条例（平成19年条例第3号）第7条に基づき、環境の保全に関する長期的な目標及び施策の基本的方向性を定めたものであり、環境施策の総合的かつ計画的な推進を図ることを目的としています。

本計画は、本市のまちづくりの最上位計画である「大垣市未来ビジョン」の未来都市像「みんなで創る 希望あふれる産業文化都市」の実現を環境面から推進するものであり、「大垣市都市計画マスタープラン」や「大垣市みどりの基本計画」など、関連計画等との整合を図っています。

また、前計画において行動計画として別途定めていた「エコ水都アクションプラン」は、本計画に包含し、「大垣市エコ水都環境プラン」として一体的に推進することとします。

〔本計画の位置づけ〕





3 計画の期間

この計画の期間は、平成30年度から令和9年度までの10年間とします。

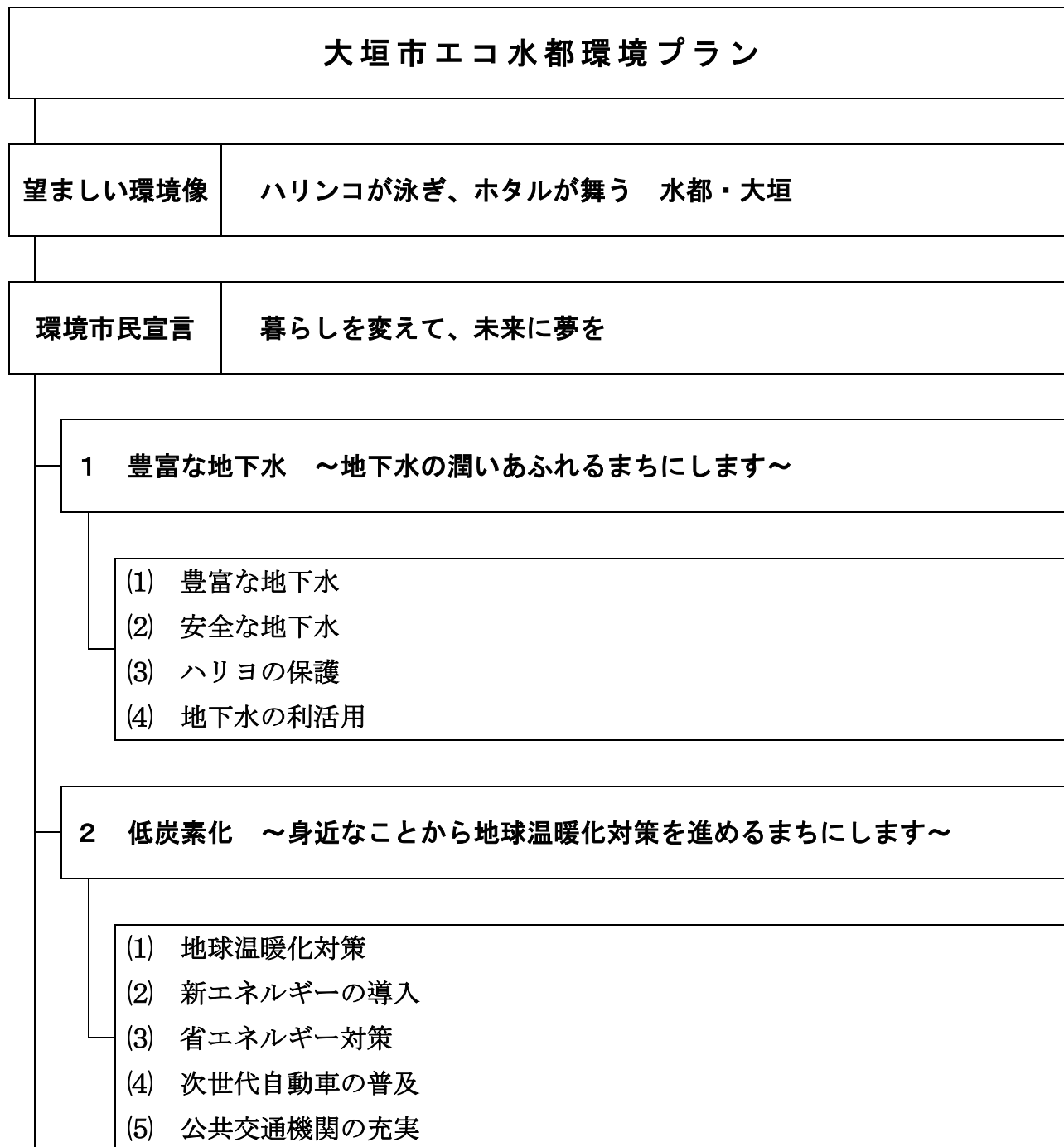
なお、策定後は、国の環境政策の動向や社会情勢の変化、事業の実施状況などを踏まえ必要に応じて見直しを行います。

〔計画の期間〕

	H29 2017	H30 2018	R元 2019	R2 2020	~	R9 2027
エコ水都環境プラン	策定					
未来ビジョン	策定					

4 計画の体系

(1) 施策体系図



3 自然共生 ～自然とともにいきる快適なまちにします～

- (1) 水質汚濁防止
- (2) 大気汚染・悪臭防止
- (3) 騒音・振動対策
- (4) 環境監視の充実
- (5) 緑化推進
- (6) 生物多様性の保全
- (7) 森林の保全・活用

4 資源循環 ～限りある資源を大切にすまちにします～

- (1) ごみの減量・資源化
- (2) 環境美化
- (3) 食の地産地消

5 協働・連携 ～一人ひとりの環境活動の広がるまちにします～

- (1) 環境教育・環境学習
- (2) 環境情報
- (3) 環境イベント
- (4) 環境行動
- (5) 行動支援
- (6) 市民協働
- (7) 人材育成

(2) 基本目標

基本目標1 豊富な地下水

目標指標名	基準値 (平成28年)	中間目標 (令和4年)	目標値 (令和9年)
① 地下水位 (cm)	各観測井実績値	現状維持	現状維持
② 地下水利活用施設(公共施設) (施設)	5	6	増加
③ 市の魚ハリヨの啓発事業実施回数 (回)	7	10	増加
④ 地下水の環境基準達成率 (%)	100	100	100

基本目標2 低炭素化

目標指標名	基準値 (令和元年)	中間目標 (令和7年)	目標値 (令和12年)
① 公共施設(浄化センター・市民病院除く)の温室効果ガス排出量 (kg-CO ₂) ※1	19,279,608	50%以上削減	80%以上削減
② 浄化センターの温室効果ガス排出量(エネルギー起源) (kg-CO ₂ /千m ³) ※1	156.6	原単位5.0%以上削減	原単位90%以上削減
③ 市民病院の温室効果ガス排出量 (kg-CO ₂ /m ³ h) ※1	12.71	原単位5.0%以上削減	原単位25%以上削減
④ 協働分の温室効果ガス排出量 (kg-CO ₂) ※1	42,744,627	5.0%以上削減	10%以上削減

※1の指標は、大垣市第4次地球温暖化対策実行計画(事務事業編)と整合を図るため、基準年度及び目標年度が異なります。

目標指標名	基準値 (平成28年)	中間目標 (令和4年)	目標値 (令和9年)
⑤ 省エネ設備等導入支援補助 件数(累計)(件)	1,900	2,140	2,800
⑥ 太陽光パネル設置件数(累 計)(件)	5,785	7,600	10,600
⑦ 自主運行バスの実車走行キ ロ当たりの輸送人員(人) ^{※3}	0.93	0.96	0.97 (令和6年)
⑧ 公用車の低炭素化率(低公害 車率)(%) ^{※2}	48.3	60.0	100.0 (令和12年)
⑨ グリーンカーテン応募件数 (累計)(件)	65	285	665

※2の指標は、大垣市第4次地球温暖化対策実行計画(事務事業編)と整合を図るため、目標年度が異なります。

※3の指標は、大垣市地域公共交通網形成計画と整合を図るため、基準年度及び目標年度が異なります。

基本目標3 自然共生

目標指標名	基準値 (平成28年)	中間目標 (令和4年)	目標値 (令和9年)
① 公共用水域(河川)の環境基準達成率(BOD)(%)	100	100	100
② 大気汚染環境基準達成率(SO ₂ 、SPM、NO ₂ 、Ox、PM2.5)(%)	85.7	85.7	85.7
③ 騒音の環境基準達成率(一般環境騒音、道路騒音、新幹線騒音)(%)	75.0	78.1	81.3
④ 市民一人当たりの都市公園面積(m ²)	6.0	6.6	7.0
⑤ 森林整備事業における間伐面積(市が実施する間伐面積)(ha)	50	50	50

基本目標4 資源循環

目標指標名	基準値 (平成28年)	中間目標 (令和4年)	目標値 (令和9年)
① 一人一日当たりのごみ総排出量(g)※4	919 (令和元年)	849 (令和7年)	833 (令和12年)
② ごみの最終処分量(t)※4	2,579 (令和元年)	2,291 (令和7年)	2,326 (令和12年)
③ アダプト制度登録団体数(団体)	44	49	54

※4の指標は、大垣市一般廃棄物処理基本計画と整合を図るため、基準年度及び目標年度が異なります。

基本目標5 協働・連携

目標指標名	基準値 (平成28年)	中間目標 (令和4年)	目標値 (令和9年)
① 環境学習会・出前講座開催数 (回)	328	355	375
② 環境イベントの開催数 (回)	10	11	12
③ 環境リーダーの育成 (人)	99	125	150
④ 市民環境賞応募数 (累計) (件)	6	40	75
⑤ 環境美化活動参加者数 (人)	18,501	18,600	18,700

(3) 基本目標及び個別目標

この計画の望ましい環境像の実現を図るため、以下の目標の方向性に沿った施策を展開します。

① 基本目標1「豊富な地下水」～地下水の潤いあふれるまちにします～

本市の豊かな地下水を保全し、安心して利用するために、地下水位の測定や水質の調査を実施し、地下水の実態を把握するとともに、地下水の適正利用や水源の保全などに関する取り組みを進めてきました。

また、湧き水などのきれいな水に生息する市の魚「ハリヨ」の保護に関する取り組みや、地下水利用地中熱ヒートポンプの導入支援などの取り組みも進めてきました。

豊富で良好な地下水を今後も継承していくため、地下水の保全と有効利用に継続して取り組む必要があります。

また、本市の環境保全のシンボルであるハリヨの保護や啓発活動に継続して取り組む必要があります。

1) 個別目標1 豊富な地下水

本市の豊かな地下水を継承していくため、地下水利用の実態把握を進めるとともに、地下水の水位が低下しないように地下水の適正利用や水源の保全などに関する取り組みを進めます。

1 施 策

- ・ 地下水利用の実態把握に努め、地下水の自主規制を進めます。
- ・ 雨水や再生水などの循環利用を進めます。
- ・ 樹林地、農地などの雨水浸透域を保全・創出し、透水性舗装や浸透ます、浸透管を設置するなど、水源の保全を図ります。
- ・ 西濃地域内の市町との連携を深め、情報交換と地下水保全に努めます。

2 市民・事業者の取り組み

- ・ 地下水利用の実態調査に協力します。
- ・ 地下水の適正利用に努めます。
- ・ 散水や清掃に雨水や再生水を利用します。
- ・ 庭や敷地内で雨水が浸透しやすい状態の維持に努めます。
- ・ 樹林地や農地、緑地などの保全に協力します。

2) 個別目標2 安全な地下水

いつでも安全な地下水を確保できるよう、地下水の水質調査を行うとともに、土壌や地下水の汚染防止に関する取り組みを進めます。

1 施策

- ・ 農薬や化学物質などによる土壌・地下水汚染防止の普及、啓発を進めます。
- ・ 地下水質調査を実施し、安全な地下水を確保していきます。

2 市民・事業者の取り組み

- ・ 農薬や化学物質などを適正に利用・管理し、土壌・地下水汚染防止に努めます。

3) 個別目標3 ハリヨの保護

本市の環境保全のシンボルである市の魚「ハリヨ」の保護・育成や生息環境の整備を進めるとともに、将来にわたって継承していくための啓発活動を行います。

1 施策

- ・ ハリヨの保護・育成を進めます。
- ・ ハリヨ生息地の実態把握とハリヨが生息する環境の整備を進めます。
- ・ ハリヨの保護活動について、情報収集や関連自治体との連携を進めます。
- ・ 市の魚「ハリヨ」の啓発を進めます。

2 市民・事業者の取り組み

- ・ ハリヨについて理解を深めます。
- ・ 市民参加によるハリヨの調査への参加や生息状況などについて情報提供します。
- ・ ハリヨの保護団体などの活動に支援・協力します。

4) 個別目標4 地下水の利活用

本市の貴重な資源として、地下水の熱利用等の有効活用を進めるとともに、「水都・大垣」の地域イメージの向上にむけても活用します。

1 施策

- ・ 地域資源である豊富な地下水の有効利活用を促進します。
- ・ 豊富な地下水のPRに努め、「水都・大垣」のイメージを高めます。
- ・ 公共施設等での地下水の利活用を検討します。

2 市民・事業者の取り組み

- ・ 地中熱利用など地下水の有効利用について理解を深めます。
- ・ 地下水利用地中熱ヒートポンプなどの導入を検討します。
- ・ 地下水の利活用について理解を深め、NPOや研究会の活動に参加・協力します。
- ・ おいしい水の源である地下水や自噴水を大切に使い、「水都・大垣」を広めます。

② 基本目標2「低炭素化」～身近なことから地球温暖化対策を進めるまちにします～

本市では「大垣市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」や「大垣市第4次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」、「大垣市新エネルギービジョン」を策定し、これらの計画に基づき地球温暖化防止のための様々な取り組みを進めてきました。

限りある資源やエネルギーを大切に利用していくため、関連計画と整合を図り、市民、事業者、行政の協働によって、省エネルギーの推進や新エネルギーの導入促進、また、次世代自動車の導入促進や公共交通機関の利用促進による自動車からの温室効果ガス排出量の削減などに継続して取り組む必要があります。

1) 個別目標1 地球温暖化対策

「大垣市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」や「大垣市第4次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」に基づき、地球温暖化防止に配慮した暮らしや事業活動に取り組むまちづくりを進めます。

1 施 策

- ・ 「大垣市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」に基づき、地球温暖化対策を進めます。
- ・ クールビズなどの低炭素アクション（Fun to Share）を推進します。
- ・ 「大垣市都市計画マスタープラン」などに基づき、集約型都市構造への転換を図り、日常的に徒歩や自転車等の利用できる市街地の形成を進めます。
- ・ 代替フロン¹の適正管理・処分を徹底します。
- ・ 「大垣市第4次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」に基づき、公共施設における地球温暖化対策を進めます。

2 市民・事業者の取り組み

- ・ 「大垣市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」に基づき、地球温暖化対策の活動に協力します。
- ・ ぎふエコ宣言に参加するなど、地域で展開されている地球温暖化対策の活動に協力します。
- ・ クールビズやウォームビズを実践するなど冷暖房での適切な温度設定に努めます。
- ・ フロン類は法令に基づき適切に管理・処理を行います。
- ・ 家庭や事業所、地域などでの身近な緑化や「グリーンカーテン」づくりに取り組みます。

2) 個別目標2 新エネルギーの導入

地域資源をいかした新エネルギーとして、太陽光発電やバイオマス発電、地下水利用地中熱ヒートポンプなどの導入を積極的に図り、エネルギーのクリーン化やエネルギー自給率向上を進めます。

1 施策

- ・ 「大垣市新エネルギービジョン」に基づき、太陽光発電設備など再生可能エネルギーの導入を進めます。
- ・ バイオマス発電を継続して実施していきます。
- ・ 消化ガス発電を継続して実施していきます。
- ・ 地域資源である豊富な地下水の有効利活用を促進します。（再掲）
- ・ 環境にやさしい電力の契約を進めます。
- ・ 公共施設における新エネルギー関連設備の導入を進めます。

2 市民・事業者の取り組み

- ・ 住宅や事業所の新築・改築時には太陽光発電や地下水利用地中熱ヒートポンプなどの新エネルギーの導入を検討します。
- ・ 市民発電所など、地域の再生可能エネルギーの導入の取り組みに協力します。
- ・ 電力の小売事業者を選ぶ際は、再生可能エネルギーなど環境に優しい電力を供給している事業者を優先して検討します。

3) 個別目標3 省エネルギー対策

限りあるエネルギーを有効に利活用するため、あらゆる主体による省エネルギー活動を推進するとともに、最新の技術を取り入れた省エネ性能の高い設備機器の積極的な導入・転換を図ります。

1 施策

- ・ 「大垣市新エネルギービジョン」に基づき、省エネ設備の導入を進めます。
- ・ 省エネ型ライフスタイルやビジネススタイルの普及・啓発を行います。
- ・ 住宅等建物の低炭素化を進めます。
- ・ 公共施設における省エネ関連設備の導入を進めます。

2 市民・事業者の取り組み

- ・ 照明や家電製品の電源オフなど、家庭や事業所での省エネ行動を進めます。
- ・ エコカーや省エネ性能の高い製品を優先して選択します。
- ・ 消費エネルギーの見える化に取り組み、節電などを進めます。
- ・ 効率的なエネルギー利用システムの導入を進めます。
- ・ 断熱化などにより住宅や事業所など建物の省エネ化を進めます。

4) 個別目標4 次世代自動車の普及

自動車からの二酸化炭素排出量を削減するため、電気自動車や燃料電池車などの環境性能に優れた次世代自動車の普及・促進を図るとともに、エコドライブやカーシェアリングの普及・啓発を進めます。

1 施策

- ・ 電気自動車や燃料電池車など次世代自動車の普及・促進を図ります。
- ・ 充電インフラの整備や、水素ステーションなどの調査・研究を進めます。
- ・ エコドライブやカーシェアリングの普及・啓発を進めます。
- ・ 公用車における次世代自動車の積極的な導入を進めます。

2 市民・事業者の取り組み

- ・ 電気自動車や燃料電池車など次世代自動車の導入を検討します。
- ・ アイドリングストップなど環境に配慮した運転を心がけます。
- ・ 自動車の空気圧やエンジンオイルなどの点検や整備を習慣化し、燃費の向上・維持に努めます。
- ・ カーシェアリングの活用を心がけます。

5) 個別目標5 公共交通機関の充実

まち全体の観点から自動車からの二酸化炭素の排出削減を進めるため、自動車に依存せず移動できるよう、公共交通機関や自転車の利便性を高めるなどの取り組みを進めます。

1 施策

- ・ 公共交通機関の維持・見直しを進め、利便性を高めます。
- ・ 公共交通機関の利用を促進するための情報発信や啓発を行います。
- ・ 自転車を利用しやすい環境整備を進めます。
- ・ 子どもや高齢者などが安心して利用できる道路環境の整備を進めます。

2 市民・事業者の取り組み

- ・ 外出時や通勤時の公共交通機関や自転車の利用を進めます。
- ・ ノーカーデーを進めます。
- ・ 子どもや高齢者などが安心して利用できるよう交通規制等に協力します。

③ 基本目標3「自然共生」～自然とともにいきる快適なまちにします～

本市の大気や水をはじめとする生活環境を良好な状態に保つため、環境監視を実施するとともに公害の未然防止などに関する取り組みを進めてきました。

また、豊かな自然環境に対しては、身近なみどりや生き物、景観の保全や森林の保全などの取り組みを進めてきました。

安心して快適な生活環境を保全するため、環境基準の達成や公害に関する苦情件数の削減への取り組みや市民へのわかりやすい情報提供などに取り組む必要があります。

また、豊かな自然環境を継承していくため、市民、事業者、行政の協働によるまちなかの緑化や、ホテルなどの貴重な生物の保護・育成とともに、市民が身近な自然と触れ合う機会づくりなどに継続して取り組む必要があります。

1) 個別目標1 水質汚濁防止

生活排水、工場排水などによる河川の汚染を防ぎ、公共用水域の環境基準達成に向け、河川の水質調査を行うとともに、水質汚濁の防止に関する取り組みを進めます。

1 施 策

- ・ 河川の水質状況を把握し、必要な水質浄化対策を進めます。
- ・ 公共下水道の普及促進と下水道事業計画区域外での合併処理浄化槽への転換の促進を図ります。
- ・ 工場・事業場排水の監視の充実を図ります。
- ・ ブルーリバー作戦など水を汚さないための生活の知恵の普及・啓発を進めます。

2 市民・事業者の取り組み

- ・ 家庭や事業所において下水道への切り替えや合併処理浄化槽への転換を進めます。
- ・ 河川などの水質異常を見かけた場合は、行政に情報提供します。
- ・ 工場排水の浄化設備等の監視体制を拡充し、自主的な監視体制の強化を図ります。
- ・ 水質浄化の技術開発や情報提供など、水質浄化に努めます。
- ・ 炊事、洗濯、入浴など普段の生活において水を汚さない工夫を実践します。
- ・ 飲食店など水をよく使う事業所においては、水を汚さない工夫を行います。

2) 個別目標2 大気汚染・悪臭防止

工場や事業場などによる大気汚染や悪臭を防ぎ、大気環境基準達成に向け、大気調査を行うとともに、大気汚染や悪臭の固定発生源の対策を進めます。

1 施策

- ・ 工場・事業場による大気汚染や悪臭防止対策を進めます。
- ・ 公害防止協定対象外の工場・事業場の環境汚染対策を進めます。

2 市民・事業者の取り組み

- ・ 大気汚染や悪臭に関心を深め、公害発生源への監視を進めます。
- ・ ばい煙発生施設の適切な維持管理や悪臭防止対策を進め、排出基準値を遵守します。
- ・ 良質な燃料への転換及び施設の適切な運転に努めます。
- ・ 未規制物質に関する情報収集と自主的な環境対策を進めます。

3) 個別目標3 騒音・振動対策

自動車や事業場などからの騒音・振動を防ぎ、騒音環境基準達成に向け、騒音・振動調査を行うとともに、騒音・振動の発生源への指導などの対策を進めます。

1 施策

- ・ 自動車による騒音・振動対策を進めます。
- ・ 工場・事業場による騒音・振動対策を進めます。

2 市民・事業者の取り組み

- ・ 近隣に配慮し、騒音や振動を出さないようにします。
- ・ 駐車場内でのアイドリングストップや低騒音タイヤの使用を進めます。
- ・ 大型トラックの中央線走行やエコドライブを進めます。
- ・ 騒音・振動対策を進め、適正な施設管理を行います。
- ・ 防音材・防振ゴムなどの導入や低騒音・低振動型の機器の導入を進めます。

4) 個別目標4 環境監視の充実

公害の発生を未然防止するため、公害防止協定事業場を中心に立入調査やパトロールによる監視を行うとともに、モニタリングシステムの整備を進めます。

1 施策

- ・ 公害防止協定を見直し、より良い環境の創出に努めます。
- ・ 環境リスクを軽減するため、地域との対話を心がけます。
- ・ 公害の発生源に対する監視体制の充実を図ります。
- ・ 大気環境の自動測定局などモニタリングシステムの整備を進めます。

2 市民・事業者の取り組み

- ・ 環境モニターなど各種モニター制度に参加します。
- ・ 公害防止協定の見直し・充実に協力します。
- ・ 環境基準や法制度などを遵守します。
- ・ 独自の管理・監視体制を拡充します。

5) 個別目標5 緑化推進

平成16年度に宣言した「心やすらぐ緑の都市」を目指して、みどりの質の向上に重点を置いたみどりの保全や創出などを進めます。

1 施策

- ・ 公共施設や民有地の多様な緑化を進めます。
- ・ 各地区に偏りがないう、バランス良い公園緑地の配置に努めます。
- ・ 緑保全地区や保存樹木の指定（市条例）を進め、社寺林や屋敷林など民間緑地の保全を図ります。
- ・ 指定天然記念物（樹木等）所有者の行う保護事業に対し、支援を行います。

2 市民・事業者の取り組み

- ・ 家庭や事業所、地域などでの身近な緑化に取り組みます。
- ・ 家庭や事業所での「グリーンカーテン」づくりに取り組みます。
- ・ 敷地内の緑地を創出・保全します。

6) 個別目標6 生物多様性の保全

水辺の自然や輪中堤、里地里山、森林をいかし、ホタルなどの貴重な生物の保護・育成や水辺の生態系の保全などを進めるとともに、市民参加型の調査などを実施し、生物多様性の普及・啓発を進めます。

1 施策

- ・ ホタルなどの貴重な生物の保護・育成を進めるとともに、生息地の環境整備を進めます。
- ・ 河川や農業用水路も含めた水辺の生態系の向上や保全・回復に努めます。
- ・ 動植物の移動や交流の場となる森林・里地里山や河川・輪中堤などの緑のネットワークの保全に努めます。
- ・ 学校ビオトープなどを活用し、自然とのふれあいの機会を増やします。
- ・ 市民参加型自然環境調査を推進し、生物とふれあう機会を増やします。
- ・ 生態系に悪影響を及ぼす外来生物の駆除に努めます。

2 市民・事業者の取り組み

- ・ 身近な自然を大切にし、希少な野生生物を採取しないようにします。
- ・ 地域の生態系に配慮し、外来生物の取り扱いに十分注意します。
- ・ 事業活動による自然環境への負荷の低減に努め、開発行為によって自然環境が損なわれないように配慮します。
- ・ 市民参加型自然環境調査などに参加し、生物とふれあいます。

7) 森林の保全・活用

本市の貴重な資源である森林を利活用するため、再生事業における間伐などにより、その多面的機能の向上に関する取り組みを進めます。

1 施 策

- ・ 県産材の有効活用を進めます。
- ・ 豊かな森林を形成するために必要な間伐等森林整備を進めます。

2 市民・事業者の取り組み

- ・ 家庭や事業所の新築・改築時などには、県産材を活用します。
- ・ 県産材を使用した製品の優先購入に努めます。

④ 基本目標4「資源循環」～限りある資源を大切にすまちにします～

本市では「大垣市一般廃棄物処理基本計画」に基づき、家庭系ごみ及び事業系ごみの減量や資源分別回収の啓発、生ごみ・剪定枝葉などの堆肥化の推進やリサイクル活動などの取り組みを進めてきました。

環境美化については、環境ボランティアの支援やクリーン作戦の推進、不法投棄の防止対策、美しいまちづくり条例の普及・啓発などの取り組みを進めてきました。

限りある資源を大切に利用していくため、引き続きごみの減量と資源化を進めるとともに、美しいまちづくりに向けた環境美化活動などを、市民、事業者、行政の協働によって継続して取り組む必要があります。

1) 個別目標1 ごみの減量・資源化

循環型社会の構築に向け、市民、事業者、行政の協働によって家庭系ごみ、事業系ごみの減量及び資源化に向けた取り組みを進めます。

1 施策

- ・ 家庭系ごみ減量に向けた情報提供などの普及・啓発を進めます。
- ・ 家庭系ごみの減量・資源化の指導を進めます。
- ・ 事業系ごみの減量・資源化の指導を進めます。
- ・ 新たな資源化品目の検討・拡大を進めます。
- ・ ごみ分別の徹底と資源分別回収を進め、資源化率の向上を図ります。
- ・ 再利用・資源化に関する情報提供を行い、リサイクル活動を進めます。
- ・ 生ごみ、剪定枝葉、畜産系の糞など堆肥化・減量化を進めます。
- ・ 食品廃棄物の低減に努めます。

2 市民・事業者の取り組み

- ・ マイバッグの持参や過剰包装を断るなどの取り組みを進めます。
- ・ レジ袋の有料化を進めます。
- ・ 詰め替え商品の購入や使い捨て商品の使用を控えるなどの取り組みを進めます。
- ・ ごみ分別への理解を深め、分別の徹底を進めます。
- ・ 牛乳パックや食品トレイの店頭回収に協力します。
- ・ リサイクル品を利用し、フリーマーケットやリサイクルショップを活用します。
- ・ ごみ減量・リサイクルに適した商品・再生品の開発とともに、表示を徹底します。
- ・ 容器のリターナブル化やデポジット制など、消費者が利用しやすい制度を検討します。
- ・ 運搬や梱包資材の省資源化・再使用の促進など、事業所用ごみ減量アクションプログラムの取り組みを進めます。
- ・ 解体・組み立ての簡易性、素材種類の削減など、修理や再利用・リサイクル時の効率考慮した設計や開発を検討します。
- ・ ゼロエミッションに取り組みます。
- ・ 他産業や他事業所との連携で再生資源や再生品の活用を図ります。
- ・ 生ごみや剪定枝葉などの堆肥化・減量化に努めます。
- ・ 畜産系の糞などの堆肥化を進めます。
- ・ 調理方法やメニューの工夫により、生ごみや食べ残しの減量化に努めます。
- ・ 3010運動などの食べきり運動に協力します。

2) 個別目標 2 環境美化

清潔で美しいまちづくりを推進するため、環境ボランティアの支援やクリーン作戦の推進、不法投棄の防止に向けた取り組みを進めます。

1 施策

- ・ 「環境ボランティア」や「クリーン作戦」の拡充・支援などにより環境美化活動の促進を図ります。
- ・ 美しいまちづくり条例の周知とアダプト制度の拡充を図ります。
- ・ 不法投棄対策を進めます。

2 市民・事業者の取り組み

- ・ 環境ボランティアへの理解を深め、環境美化活動に参加します。
- ・ アダプト制度に登録し、地域の美化活動などに協力します。
- ・ 不法投棄パトロールなど、不法投棄対策に協力します。

3) 個別目標3 食の地産地消

「大垣市農業ビジョン」に基づき、安全で環境負荷の少ない農業を推進し、食の地産地消に向けた取り組みや市街地内農地の保全活用などの取り組みを進めます。

1 施策

- ・ 直売所・朝市など地域の農産物を地域で消費する地産地消スタイルを進めます。
- ・ 環境にやさしいぎふクリーン農業を進めます。
- ・ 耕作放棄地の発生防止及び解消を進めます。
- ・ 市街地内農地の保全・活用を図り、身近な農業を進めます。

2 市民・事業者の取り組み

- ・ 芭蕉元禄朝市や各地域で開催する朝市で地元野菜を購入するなど、食の地産地消に取り組めます。
- ・ 社員食堂に地元野菜を利用するなど、食の地産地消に取り組めます。
- ・ 環境保全型農業やぎふクリーン農業を実施します。

⑤ 基本目標5「協働・連携」～一人ひとりの環境活動の広がるまちにします～

本市では、あらゆる主体による環境活動を進めるために、環境情報の収集・発信や環境学習・環境教育の推進、人材育成や環境活動への支援など、環境について知り、学び、行動するための取り組みを進めてきました。

今後よりいっそう市民、事業者、行政が連携し、協働で環境活動に取り組むために、様々な機会を利用した情報発信や学びの機会づくり、日々の環境行動や地域の環境活動に参加しやすい仕組みづくり、環境活動の中心となる環境リーダーや環境ボランティアなどの人材育成、活動への支援などに継続して取り組む必要があります。

1) 個別目標1 環境教育・環境学習

市民、事業者や子どもから高齢者まで、様々な立場で環境について学べる仕組みと機会づくり及び身近な自然環境などの地域資源をいかした環境教育を進めます。

1 施策

- ・ 市民の環境学習の充実を図ります。
- ・ 幼保園・保育園・幼稚園などにおいて、自然とふれあう機会の創出に努めます。
- ・ 小・中・高等学校における地域の資源を活用した体験型の環境教育を進めます。
- ・ エコステージおおがきなどの環境学習拠点の充実を図ります。

2 市民・事業者の取り組み

- ・ 知識や体験などをいかして学校などが行う環境教育に協力します。
- ・ 体験型環境教育に参加したり、支援したりします。
- ・ 事業所が所有する場所や知識を環境教育に提供します。
- ・ 市民環境講座などを受講し、環境学習に取り組みます。
- ・ 出前講座を活用し、事業所内の環境学習を進めます。

2) 個別目標2 環境情報

あらゆる主体による自発的な環境活動を推進するため、環境情報の収集・発信の活性化に向けた取り組みを進めます。

1 施策

- ・ インターネットや広報などを活用し、環境情報の収集・発信を進めます。

2 市民・事業者の取り組み

- ・ 環境情報の収集や市民の交流活動に参加します。
- ・ インターネットなどを利用して、環境情報の公開を進めます。

3) 個別目標3 環境イベント

環境に対する意識啓発を進めるとともに、あらゆる主体で意識を共有するため、環境フォーラムなどの環境関連イベントの開催などの取り組みを進めます。

1 施策

- ・ 環境月間でのイベントの開催などによる関連行事を定例化します。
- ・ 環境フォーラムなど環境関連イベントへの参加を呼びかけ、市民や事業者の環境意識の高揚を図ります。

2 市民・事業者の取り組み

- ・ 環境フォーラムなどの環境イベントに参加・協力し、環境意識・行動を共有します。
- ・ 環境に関するイベントに参加し、事業所内の環境意識・行動の共有を図ります。

4) 個別目標4 環境行動

家庭や事業所における日常的な環境行動を広げるため、環境家計簿や環境にやさしい買い物(グリーン購入)の普及を行うとともに、事業所の環境配慮活動への支援を進めます。

1 施策

- ・ 環境家計簿への取り組みや環境にやさしい買い物(グリーン購入)の普及を進めます。
- ・ ISO14001などの環境管理システムの導入を進め、環境に配慮した事業所の拡充を図ります。

2 市民・事業者の取り組み

- ・ 環境家計簿に取り組みます。
- ・ グリーン購入に取り組みます。
- ・ 環境会計の導入を検討します。
- ・ ISO14001やエコアクション21など環境マネジメントシステムの導入を進め、E工場などの環境配慮事業所を拡充します。

5) 個別目標5 行動支援

地域の環境保全に貢献した活動などを行っている市民・事業者を支援するため、優遇措置の拡充や顕彰などの体制づくりを進めます。

1 施策

- ・ 環境行動や地域の環境活動団体に対する支援・優遇措置などの拡充を図ります。
- ・ 環境行動を評価し、見直し継続していく体制づくりを進めます。

6) 個別目標6 市民協働

協働によるよりよい環境づくりを推進するため、大垣市環境市民会議など市民、事業者、行政のパートナーシップによる組織や活動及び自治会等の地域の環境活動を支援します。

1 施策

- ・ 市民、事業者、行政のパートナーシップによる組織や活動を支援します。
- ・ 自治会等が実施する環境活動を支援します。

2 市民・事業者の取り組み

- ・ 地域資源の保全・創出など地域での環境活動に参加します。

7) 個別目標7 人材育成

環境行動を支える人材を支援・育成するため、大垣市環境市民会議などと連携した取り組みを進めるとともに、市域を超えた環境ネットワークづくりを進めます。

1 施策

- ・ 大垣市環境市民会議などと連携し、環境リーダー、環境ボランティアの支援・育成を進めます。
- ・ 市域を越えた広域的な環境ネットワークづくりを進めます。

2 市民・事業者の取り組み

- ・ 環境ボランティアや環境リーダーの養成講座などに参加します。
- ・ 環境リーダー養成講座などへの参加や自ら開催を行うことで、事業所内の人材育成に取り組めます。
- ・ 長良川流域環境ネットワークなど市域を越えた活動に参加・協力します。

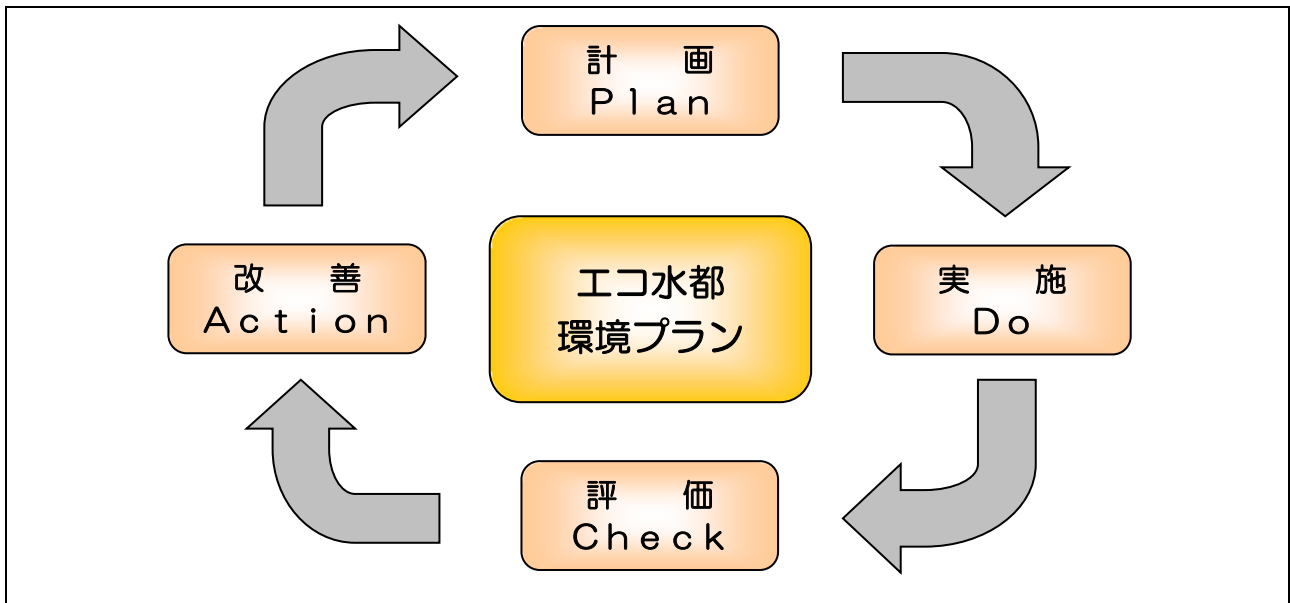
第2章 エコ水都環境プランの評価

1 評価の趣旨

本市では、「大垣市未来ビジョン基本構想（平成30年度～令和29年度）」の施策のひとつである「みんなが安心するまちづくり（生活環境）」の実現を目指して、本市の環境施策の総合的かつ計画的な推進を図ることを目的として、大垣市エコ水都環境プランを策定しています。

この施策について、PDCAを活用したマネジメントシステムに基づき、継続的な見直しや改善に取り組むため、実施状況を評価するとともに、進行管理を行いました。

〔マネジメントシステムによる進行管理〕



2 評価の方法

(1) 施策評価

望ましい環境像である「ハリンコが泳ぎ、ホテルが舞う 水都・大垣」の実現を目指し、別に定める基本目標（数値目標）について、目標指標の達成度についての評価を行いました。

(2) 事業評価

具体的な取り組みとして掲げている事業について、進捗状況の評価を行いました。

〔評価の方法〕

区分	施策評価	事業評価
① 対象	基本目標 (26指標/26指標)	具体的な取り組みに掲げる事業 (129事業/129事業)
② 内容	指針の基本目標について、年度別の目標値に対する実績値及び評価基準による評価を実施。	指針に掲げた事業について、一次評価として、年度別の進捗状況及び評価基準による評価を実施。
③ 評価基準	基本目標の目標値に対する実績値の割合を評価。 A：目標達成 B：目標達成率80%以上 C：目標達成率70%以上 D：目標達成率60%以上 E：目標達成率60%未満	事務事業の実施状況に基づき評価。 A：実施 B：実施見込 C：実施に向け検討中 D：未実施

3 評価結果の概要

(1) 施策評価の結果

計画の施策評価について、26の目標指標に対して、A評価が18項目、B評価が6項目、D評価が1項目、E評価が1項目となっています。

望ましい環境像の実現に向け、施策内の事業の見直しを行うなど、さらなる推進改善に努めていきます。

〔施策評価結果〕

基本目標1 豊富な地下水

目標指標名	基準値	目標値、実績値、評価				
	H28	R3	R4	R5	R6	R7
① 地下水位 (cm)	各観測井実績値	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
		現状維持	現状維持	現状維持		
		A	A	A		
② 地下水利活用施設 (公共施設) (施設)	5	5	6	6	6	6
		5	5	5		
		A	B	B		
③ 市の魚ハリヨの啓発 事業実施回数 (回)	7	9	10	10	10	10
		5	6	11		
		E	D	A		
④ 地下水の環境基準達 成率 (%)	100	100	100	100	100	100
		100	100	100		
		A	A	A		

基本目標2 低炭素化

目標指標名	基準値	目標値、実績値、評価				
	R元	R3	R4	R5	R6	R7
① 公共施設(浄化センター・市民病院除く。)の温室効果ガス排出量 (kg-CO ₂)	19,279,608	17,351,647	15,423,686	13,495,726	11,567,765	9,639,804
		15,498,979	16,955,333	16,670,339		
		A	E	※ ₁ E		
② 浄化センターの温室効果ガス排出量(エネルギー起源) (kg-CO ₂ /千m ³)	156.6	155.0	153.5	151.9	150.3	148.8
		140.6	130.0	133.5		
		A	A	A		
③ 市民病院の温室効果ガス排出量 (kg-CO ₂ /m ² h)	12.71	12.58	12.46	12.33	12.20	12.07
		13.21	12.67	12.69		
		E	B	B		
④ 協働分の温室効果ガス排出量 (kg-CO ₂)	42,744,627	42,317,181	41,889,734	40,179,949	39,752,503	39,325,057
		34,721,082	35,749,008	35,474,784		
		A	A	A		

※₁ 30度を超える真夏日が92日と猛暑が続いたため、各施設の空調の使用期間・時間が増加したこと等による。

目標指標名	基準値	目標値、実績値、評価				
	H28	R3	R4	R5	R6	R7
⑤ 省エネ設備等導入支援補助件数(累計) (件)	1,900	2,100	2,140	2,272	2,404	2,536
		2,337	2,422	2,467		
		A	A	A		
⑥ 太陽光パネル設置件数(FIT認定件数)(累計) (件)	5,785	7,280	7,600	8,200	8,800	9,400
		7,996	8,416	8,783		
		A	A	A		
⑦ 自主運行バスの実車走行キロ当たりの輸送人員(人)	0.93	0.95	0.96	0.96	0.96	0.97
		0.76	0.83	0.85		
		B	B	B		
⑧ 公用車の低炭素化率(低公害車率) (%)	48.3	57.8	60.0	68.0	76.0	84.0
		70.3	73.8	78.0		
		A	A	A		
⑨ グリーンカーテンコンテスト応募件数(累計) (件)	65	248	285	361	437	513
		332	371	417		
		A	A	A		

基本目標3 自然共生

目標指標名	基準値	目標値、実績値、評価				
	H28	R3	R4	R5	R6	R7
① 公共用水域（河川）の環境基準達成率（BOD）（%）	100	100	100	100	100	100
		100	100	100		
		A	A	A		
② 大気汚染環境基準達成率（%）（SO ₂ 、SPM、NO ₂ 、O _x 、PM2.5）	85.7	85.7	85.7	85.7	85.7	85.7
		85.7	85.7	85.7		
		A	A	A		
③ 騒音の環境基準達成率（一般環境騒音、道路騒音、新幹線騒音）（%）	75.0	77.2	78.1	78.7	79.4	80.0
		78.1	87.5	81.2		
		A	A	A		
④ 市民一人当たりの都市公園面積（㎡）	6.0	6.5	6.6	6.7	6.8	6.8
		6.2	6.37	6.42		
		B	B	B		
⑤ 森林整備事業における間伐面積（ha）（市が実施する間伐面積）	50	50	50	50	50	50
		61	76	85		
		A	A	A		

基本目標4 資源循環

目標指標名	基準値	目標値、実績値、評価				
	R元	R3	R4	R5	R6	R7
① 一人一日当たりのごみ総排出量（g）	919	906	903	865	877	849
		881	909	856		
		A	B	A		
② ごみの最終処分量（t）	2,579	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
		2,234	2,435	2,359		
		A	A	A		

目標指標名	基準値	目標値、実績値、評価				
	H28	R3	R4	R5	R6	R7
③ アダプト制度登録 団体数（団体）	44	48	49	50	51	52
		39	42	41		
		B	B	B		

基本目標5 協働・連携

目標指標名	基準値	目標値、実績値、評価				
	H28	R3	R4	R5	R6	R7
① 環境学習会・出前講 座開催数（回）	328	350	355	359	363	367
		168	147	242		
		E	E	※ ₂ D		
② 環境イベントの開催 数（回）	10	11	11	11	11	12
		2	5	19		
		E	E	A		
③ 環境リーダーの育成 （人）	99	120	125	130	135	140
		90	102	130		
		C	B	A		
④ 市民環境賞応募数 （累計）（件）	6	35	40	47	54	61
		48	54	58		
		A	A	A		
⑤ 環境美化活動参加者 数（人）	18,501	18,585	18,600	18,620	18,640	18,660
		13,077	14,251	15,781		
		C	C	B		

※₂ コロナ禍明けで開催数が回復しましたが、目標達成には至りませんでした。

(2) 事業評価の結果

計画の事業評価については、129事業全てがA評価となっています。

引き続き、望ましい環境像の実現に向け、適切な事業実施に努めていきます。

〔基本目標ごとの一覧〕

取組項目	事業数	A	B	C	D
①	21	21	0	0	0
②	31	31	0	0	0
③	33	33	0	0	0
④	18	18	0	0	0
⑤	26	26	0	0	0
合計	129	129	0	0	0

- ※ ① 豊富な地下水～地下水の潤いあふれるまちにします～
 ② 低炭素化～身近なことから地球温暖化対策を進めるまちにします～
 ③ 自然共生～自然とともにいきる快適なまちにします～
 ④ 資源循環～限りある資源を大切にするまちにします～
 ⑤ 協働・連携～一人ひとりの環境活動の広がるまちにします～

基本目標1 豊富な地下水

事業名	実施状況	事業概要	評価
		令和5年度末の進捗状況	
地下水把握 ・自主規制	実施	市内のモニタリング井戸の地下水位観測を実施します。	A
		市内モニタリング井戸（4か所 東町井、江東小井、野口井、興福地井）の地下水位観測を令和5年4月1日～令和6年3月31日の期間に実施しました。 ○ 令和5年度実績：地下水位観測箇所 4か所	

事業名	実施状況	事業概要	評価
		令和5年度末の進捗状況	
地下水把握 ・自主規制	実施	西濃地区地下水利用対策協議会を通して、揚水量の監視を行うとともに、節水努力及び回収水の向上を推進します。	A
		西濃地区地下水利用対策協議会を通して地下水揚水量を実績報告書の提出により把握し、節水や回収水の向上など適正利用を推進しました。 ○ 令和5年度実績：事業所数 123事業所	
再生水利用	実施	西濃地区地下水利用対策協議会を通して、再生水利用の普及・啓発を実施します。	A
		西濃地区地下水利用対策協議会を通して、さく井事業所等へ回収水の向上、循環利用の推進を依頼しました。 ○ 令和5年度実績：依頼事業所 2事業所	
雨水浸透域 ・透水性舗装	実施	農地の有効活用により農地の保全を図ります。	A
		農地の有効活用により農地の保全を図りました。 ○ 令和5年度実績：農地面積 3,071ha	
	実施	透水性舗装の実施に努めます。	A
		○ 令和5年度実績：市道の歩道で透水性舗装実施。	
西濃地域内 連携	実施	西濃地域の他市町と連携し、西濃地区地下水対策協議会を適切に運営し、情報交換と地下水保全に努めます。	A
		西濃地域の2市7町と連携し、西濃地区地下水対策協議会を運営し、届出やさく井に関する情報を密にとるとともに、新規進出する企業へ当該協議会の説明を実施するよう依頼しました。 ○ 令和5年度実績：依頼件数 1件	
地下水汚染 防止普及啓 発	実施	広報やホームページなどを通して、農薬や化学物質などによる土壌・地下水汚染防止の普及・啓発を図ります。	A
		○ 令和5年度実績：土壌・地下水汚染に関する情報をホームページや窓口相談などで周知を行いました。	
地下水質調 査	実施	地下水質調査を実施します。	A
		令和6年1月に市内18か所の地下水質調査を実施し、環境基準適合を確認しました。 ○ 令和5年度実績：地下水質調査実施箇所 18か所	

事業名	実施 状況	事業概要	評 価
		令和5年度末の進捗状況	
ハリヨ保護 育成	実施	イベント時におけるハリヨの展示や、ハリヨグッズの作成・配布などにより、保護育成を図ります。	A
		<p>出前講座やイベントの際にハリヨ・ホタルグッズを配布し、保護育成について啓発しました、</p> <p>○ 令和5年度実績：</p> <p>わくわく下水道フェア 令和5年9月3日</p> <p>大垣西高校 出前講座 令和5年10月23日</p> <p>めぐるマルシェ 令和5年10月29日</p> <p>第2回水都大垣かわまちテラス 令和5年11月4日・5日</p> <p>エコネットカフェ2023 令和5年12月10日</p> <p>環境SDGsおおがき未来創造フェスティバル 令和6年3月16日</p>	
	実施	ハリヨを保護する諸活動の推進（市民学習会・ハリヨ池環境整備（除草））と専門家による現地指導します。	A
		<p>○ 令和5年度実績：地元保存会による除草作業を令和5年5月、10月に行いました。</p> <p>また、地元保存会と協力し、専門家に講師を依頼し、地元住民を対象に「矢道ハリヨ学習会」を令和5年7月29日に実施しました。</p>	
生息地調査 ・保護	実施	ハリヨの保護にかかわる諸活動の推進（市民学習会・ハリヨ池環境整備（除草））と専門家による現地指導、生育状況調査を実施します。	A
		<p>○ 令和5年度実績：地元保存会による除草作業を令和5年5月、10月に行いました。</p> <p>また、地元保存会と協力し、専門家に講師を依頼し、地元住民を対象に「矢道ハリヨ学習会」を令和5年7月29日に実施しました。</p>	

事業名	実施状況	事業概要	評価
		令和5年度末の進捗状況	
他団体連携	実施	<p>木曾三川流域生態系ネットワーク等を通じて、様々な地域のハリヨ等の保護活動について情報収集を図ります。</p> <p>木曾三川流域生態系ネットワークや保護活動を行っている団体から、ハリヨの保護活動について情報を収集した。</p> <p>○ 令和5年度実績：木曾三川流域生態系ネットワーク会議参加回数 3回（WEB会議）</p> <p>エコネットカフェ2023に参加 令和5年12月10日</p>	A
	実施	<p>関連団体主催のシンポジウムや学習会へ参加します。</p> <p>○ 令和5年度実績：令和5年7月29日「矢道ハリヨ学習会」に参加しました。</p>	
市の魚啓発	実施	<p>ハリヨグッズの作成・配布により市の魚を啓発します。</p> <p>希望のあった学校にハリヨのパンフレットを配布し、環境学習に使用しました。</p> <p>○ 令和5年度実績：小野小学校150部</p>	A
	実施	<p>各種環境イベントにてハリヨを展示し、市の魚を啓発します。</p> <p>各種環境イベントにて、ハリヨグッズを配布しました。</p> <p>○ 令和5年度実績：</p> <p>わくわく下水道フェア 令和5年9月3日</p> <p>大垣西高校 出前講座 令和5年10月23日</p> <p>めぐるマルシェ 令和5年10月29日</p> <p>第2回水都大垣かわまちテラス 令和5年11月4日・5日</p> <p>エコネットカフェ2023 令和5年12月10日</p> <p>環境SDGsおおがき未来創造フェスティバル 令和6年3月16日</p>	
地下水有効利活用	実施	<p>地下水利用地中熱ヒートポンプの設置に対し補助を実施し、導入の促進を図ります。</p>	A
		<p>○ 令和5年度実績：スマートライフ設備設置事業補助金において、地下水利用地中熱ヒートポンプの補助金を募集し、ホームページや広報を通じて導入の促進に努めました。</p>	

事業名	実施状況	事業概要	評価
		令和5年度末の進捗状況	
地下水有効利活用	実施	地域資源である地下水の有効利活用について、NPO法人地中熱利用促進協会や岐阜地中熱研究会などに参加し、情報収集や交流を図ります。	A
		○ 令和5年度実績：地域資源である地下水の有効利活用について、岐阜地中熱研究会を通じて、情報収集に努めました。	
「水都・大垣」PR	実施	わくわく湧き水マップなどで、大垣の地下水や自噴水を紹介し、水都大垣をPRします。	A
		わくわく湧き水マップなどで、大垣の地下水や自噴水を紹介し、水都大垣をPRしました。 また、令和6年3月に湧き水ポータルサイトを作成し、湧き水スポットや湧き水に暮らす生き物、地域住民などによる保全活動、湧き水の歴史について紹介しました。 ○ 令和5年度実績：わくわく湧き水マップ配布枚数 10枚 湧き水ポータルサイト閲覧数 2,503回 (令和6年3月4日公開～令和6年3月31日)	
	実施	広報やホームページを通して、「水の郷100選」や「水都20選」の普及・啓発などを実施し、水都・大垣のイメージを高めます。 広報おおがきや市ホームページを通して、「水の郷100選」や「水都20選」の普及・啓発などを実施し、水都・大垣のイメージを高めました。 ○ 令和5年度実績：「水の郷100選」、「水都20選」関連市ホームページアクセス数 31,737件	A
	実施	観光のパンフレットやDVDなどで、市の主要な観光地点として湧水、自噴水を取りあげ、水都大垣を情報発信します。	A
		○ 令和5年度実績：観光のパンフレットや動画などで、市の主要な観光地点として湧水、自噴水を取りあげたほか、「水（自噴水、湧水）」をテーマにしたポスターや映像を制作・展示するなど、「水都 大垣」の情報発信に務めました。	
公共施設における地下水利活用	実施	公共施設等での地下水の利活用について検討します。	A
		○ 令和5年度実績：公共施設等での地下水の利活用について検討しました。	

基本目標2 低炭素化

事業名	実施状況	事業概要	評価
		令和5年度末の進捗状況	
区域施策編 推進	実施	大垣市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を推進します。	A
		大垣市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を推進しました。 ○ 令和5年度実績：大垣市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）における施策評価 A評価数 5/15 B評価数 9/15 C評価数 1/15	
低炭素アクション	実施	クールチョイスなどの低炭素アクションを実施します。	A
		クールビズ、（5～10月）、ウォームビズ（12～3月）、クールチョイス（通年）などの低炭素アクションを実施しました。 ○ 令和5年度実績：クールチョイスビズ（5月～10月）、ウォームビズ（12月～3月）、クールチョイス（通年）	
徒歩や自転車等の利用できる市街地形成	実施	公共交通の維持により、生活利便性の確保を図る。高齢者に対する運転免許の自主返納支援制度を継続し、公共交通の利用促進を図ります。	A
		公共交通の維持により、生活利便性の確保を図りました。高齢者に対する運転免許の自主返納支援制度を新設し、公共交通の利用促進を図りました。 ○ 令和5年度実績：高齢者運転免許証自主返納支援事業 申請件数 384件	
	実施	「立地適正化計画」に基づき、集約型都市構造への転換を図ります。	A
		居住誘導および都市機能誘導区域内に誘導するための施策について検討を進めました。 ○ 令和5年度実績： 居住誘導区域外における届出 8件 都市機能誘導区域外における届出 3件 都市機能誘導区域外における誘導施設の休廃止届 0件	
代替フロン の適正管理	実施	各施設管理者からの情報を取りまとめ、適正管理を行います。	A
		各施設管理者からの情報を取りまとめ、1,000t-CO ₂ 未満であることを確認しました。（国への報告は1,000t-CO ₂ 以上） ○ 令和5年度実績：79.49735t-CO ₂	

事業名	実施状況	事業概要	評価
		令和5年度末の進捗状況	
公共施設における地球温暖化対策	実施	大垣市第4次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）を推進し、市庁舎等における省エネ・節電対策を実施します。	A
		大垣市第4次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）を推進し、各部ごと実績を報告し、エネルギー使用量を確認することで、省エネ・節電への意識を高めました。 ○ 令和5年度実績：実績報告 4月	
再生可能エネルギーの導入促進	実施	再生可能エネルギー設備などの設置補助金を実施し、再生可能エネルギーの導入促進を図ります。	A
		スマートライフ設備設置事業補助金において、太陽光発電設備等について補助金を実施しました。 ○ 令和5年度実績： 大垣市太陽光発電設備等設置費補助金 ・太陽光発電設備 補助件数 41件 決算額 12,678千円 ・蓄電池 補助件数 30件 決算額 7,706千円	
バイオマス発電	実施	バイオマス発電（廃棄物発電）を継続して実施します。	A
		バイオマス発電（廃棄物発電）を継続して実施しました。 ○ 令和5年度実績：7,358MWh	
消化ガス発電	実施	消化ガス発電を継続して実施します。 ○ 令和5年度計画：2,457,000kWh	A
		消化ガス発電を継続して実施しました。 ○ 令和5年度実績：2,555,857kWh	

事業名	実施状況	事業概要	評価
		令和5年度末の進捗状況	
地下水有効利活用 (再掲)	実施	地下水利用地中熱ヒートポンプの設置に対し補助を実施し、導入の促進を図ります。	A
		○ 令和5年度実績：スマートライフ設備設置事業補助金において、地下水利用地中熱ヒートポンプの補助金を募集し、ホームページや広報を通じて導入の促進に努めました。	
	実施	地域資源である地下水の有効利活用について、NPO法人地中熱利用促進協会や岐阜地中熱研究会などに参加し、情報収集や交流を図ります。	A
		○ 令和5年度実績：地域資源である地下水の有効利活用について、岐阜地中熱研究会を通じて、情報収集に努めました。	
環境にやさしい電力契約	実施	ホームページなどで周知し、環境にやさしい電力の契約促進を図ります。	A
		○ 令和5年度実績：環境衛生課窓口前掲示板にて1年を通してクールチョイス、省エネ家電等省エネに関するポスターを掲示しました。	
	実施	グリーン電力証書の販売などにより、環境にやさしい電力の周知を図ります。	A
グリーン電力証書を販売し、環境にやさしい電力の周知を図りました。 ○ 令和5年度実績：販売実績 7社、131,000kWh 市庁舎屋上の太陽光発電設備（10kW）および第1駐車場の庇の同設備（20kW）にて生じた電力を活用することで電力調達の低減に努めました。 公共施設において、太陽光発電設備を運用しました（25施設419kW）。 太陽光発電設備導入を図るため、未設置箇所の公共施設や空き地、駐車場等の発電量調査、屋根の形状等の把握などの導入ポテンシャル調査及び先行事例調査、仕様書の検討を実施しました。 3斎場（令和5年4月から令和6年3月）及びクリーンセンター（令和5年12月から令和6年3月）において、再生可能エネルギー電力を導入しました。			

事業名	実施状況	事業概要	評価
		令和5年度末の進捗状況	
省エネ設備導入促進	実施	蓄電池などの省エネ設備の導入補助を実施し、導入促進を図ります。	A
		<p>スマートライフ設備設置事業補助金において、蓄電池設置等について補助金を実施しました。</p> <p>○ 令和5年度実績：</p> <p>大垣市ネットゼロエネルギーハウス普及促進事業補助金 補助金額 1件につき5万円 補助件数 15件 決算額 750,000千円</p> <p>大垣市太陽光発電設備等設置費補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電設備 補助件数 41件 決算額 12,678千円 ・蓄電池 補助件数 30件 決算額 7,706千円 	
省エネ普及啓発	実施	たい肥でグリーンカーテン事業やグリーンフォトコンテストの実施のほか、エコワットの貸出を実施し、省エネ行動の普及・啓発・支援を図ります。	A
		<p>ダンボールコンポスト講座、グリーンフォトコンテストの応募等市民への省エネ行動の普及・啓発・支援を図りました。</p> <p>○ 令和5年度実績：ダンボールコンポスト講座 80回 グリーンフォトコンテスト応募 (グリーンカーテン部門) 46件</p>	
公共施設における省エネ設備導入	実施	省エネ関連設備によって光熱水費の削減に努めます。	A
		<p>市庁舎屋上の太陽光発電設備(10kW)および第1駐車場の庇の同設備(20kW)にて生じた電力を活用することで電力調達の低減に努めました。</p> <p>地中熱ヒートポンプ(5施設)及び蓄電池(4施設)を使用し、省エネルギーに努めました。</p>	

事業名	実施状況	事業概要	評価
		令和5年度末の進捗状況	
次世代自動車普及啓発	実施	電気自動車「e-NV200」の展示等により、低公害車の普及・啓発を図ります。	A
		<p>通常業務に電気自動車「e-NV200」を使用することにより、低公害車の普及・啓発を図りました。</p> <p>また、スマートライフ設備設置事業補助金において、再エネ電力利用クリーンエネルギー自動車導入促進事業補助金を実施し、クリーンエネルギー自動車の導入促進に努めました。</p> <p>○ 令和5年度実績：</p> <p>e-NV200走行距離 5,151km</p> <p>大垣市再エネ電力利用クリーンエネルギー自動車導入促進事業補助金</p> <p>補助金額 1件につき4万円</p> <p>補助件数 13件</p> <p>決算額 520千円</p>	
インフラ調査研究	実施	水素ステーションなどの調査研究を実施します。	A
		○ 令和5年度実績：岐阜県省エネ・新エネ市町村会議に参加し、情報収集に努めました。	
エコドライブ等の普及啓発	実施	車両責任者講習会において、効率運転についての啓発を実施します。	A
		<p>○ 令和5年度実績：令和5年9月26日に車両責任者講習会を開催し、効率運転について啓発を実施しました。</p> <p>車両責任者 61人</p>	

事業名	実施状況	事業概要	評価
		令和5年度末の進捗状況	
エコドライブ等の普及啓発	実施	大垣市第4次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の取組を通じて、各所属において車両運転時の走行距離や燃料使用量を把握するよう努めることで、エコドライブの啓発を図る。	A
		<p>○ 令和5年度実績：大垣市第4次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の取組を通じて、各所属において車両運転時の走行距離や燃料使用量を把握するよう努めることで、エコドライブの啓発を実施しました。</p> <p>ガソリン 使用量：112,843L 走行距離：1,347,275km</p> <p>軽油 使用量：121,690L 走行距離：723,370km</p>	
公用車における次世代自動車の積極的な導入	実施	予算段階での車両更新を検討している所属からの問い合わせに対し、環境性能・燃費性能の高い車両選定を依頼します。	A
		<p>予算段階での車両更新を検討している所属からの問い合わせに対し、環境性能・燃費性能の高い車両選定を依頼しました。</p> <p>○ 令和5年度実績：低公害車（天然ガス自動車・ハイブリッド車等）、新燃費基準達成車の保有台数 249台/320台</p> <p>令和5年度 PHEV導入（管理課）、EV導入（社会福祉課）</p> <p>※参考：令和4年度実績 236台/320台</p>	
公共交通機関の利便性向上	実施	利用者ニーズに合致した運行サービスの改善や、鉄道・バス間の乗り継ぎダイヤの調整など、公共交通の利便性向上に取り組みます。	A
		上石津地域公共交通の再構築、バス路線の見直し等、利用者ニーズに合致した運行サービスの改善等を実施するなど、公共交通の利便性向上に取り組みました。	
公共交通機関利用促進	実施	公共交通の利用促進のため、鉄道・バス事業者等の協力を得て、乗り物に親しんでもらうイベントを実施します。	A
		<p>乗り物に親しんでもらうイベントを実施しました。</p> <p>○ 令和5年度実績：大垣市のりものフェア 令和5年10月1日</p>	

事業名	実施 状況	事業概要	評 価
		令和5年度末の進捗状況	
公共交通機 関利用促進	実施	高齢者運転免許証自主返納支援事業を実施します。	A
		高齢者運転免許証自主返納支援事業を実施し、公共交通機関の回数券を贈呈しました。 ○ 令和5年度実績：申請件数 384件	
	実施	公共交通機関の利用促進のため、出前講座等を開催します。	A
		市民、企業等の要望に応じ、本市の公共交通の状況や取組について紹介するかがやき出前講座や地域住民との懇談会を開催しました。	
自転車利用 環境整備	実施	大垣駅周辺自転車駐車場の適切な運営及び維持管理に努めます。	A
		大垣駅周辺自転車駐車場の適切な運営及び維持管理に努めました。	
	実施	レンタサイクルの車両の更新を行い、利用満足度の向上を図ります。	A
		観光客や買い物客等の街中の手軽な交通手段として、特典付きのレンタサイクルの運用を行いました。 ○ 令和5年度実績：2,024件	
安心して利 用できる道 路環境整備	実施	通学路等における事故防止・安全確保のため、カラー舗装等の対策を実施します。	A
		通学路等における事故防止・安全確保のため、カラー舗装等の対策を実施しました。 ○ 令和5年度実績：833.3㎡実施	
	実施	通学路等における安全確保のため、歩道整備を実施します。	A
		通学路等における安全確保のため、歩道整備を実施しました。 ○ 令和5年度実績：8か所実施	
	実施	登下校時の児童生徒の安全確保のため、各学校・教育委員会・地域・関係機関との合同点検を実施します。	A
		登下校時の児童生徒の安全確保のため、各学校・教育委員会・地域・関係機関との合同点検を実施しました。 ○ 令和5年度実績：32校（全小中学校）	

基本目標3 自然共生

事業名	実施状況	事業概要	評価																								
		令和5年度末の進捗状況																									
河川水質調査	実施	国・県と連携し、市内の河川等の水質調査を実施します。	A																								
		国（3か所）、県（3か所）とともに、市では32か所の水質調査を実施し、環境基準適合状況を把握しました。 ○ 令和5年度実績：市実施水質調査箇所数 32か所																									
公共下水道の整備及び合併処理浄化槽への転換促進	実施	大垣処理区1.0haを整備します。	A																								
		大垣処理区2.65aを整備しました。 ○ 令和5年度実績：2.65ha																									
	実施	水洗化率向上に向けて普及活動を実施します。	A																								
		水洗化率向上に向けて普及活動を実施しました。 ○ 令和5年度実績：210件																									
	実施	合併処理浄化槽の設置に対し補助金を交付するとともに、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換に伴う浄化槽撤去費及び宅内配管工事費に対する補助金を交付します。 市広報及びホームページにて同補助金を周知します。	A																								
		市のホームページや広報への掲載で啓発活動を行い、補助対象となる合併処理浄化槽設置に対し、補助金を交付しました。 ○ 令和5年度実績：浄化槽設置整備事業補助金 <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>補助金額</td><td>5人槽</td><td>332千円</td></tr> <tr><td></td><td>6～7人槽</td><td>414千円</td></tr> <tr><td></td><td>8～10人槽</td><td>548千円</td></tr> <tr><td></td><td>11～20人槽</td><td>939千円</td></tr> <tr><td></td><td>21～30人槽</td><td>1,472千円</td></tr> <tr><td></td><td>31～50人槽</td><td>2,037千円</td></tr> <tr><td></td><td>浄化槽撤去費</td><td>120千円</td></tr> <tr><td></td><td>汲取便槽撤去費</td><td>90千円</td></tr> <tr><td></td><td>宅内配管工事費</td><td>300千円</td></tr> </table> 補助件数 23件（うち浄化槽撤去4件、宅内配管工事補助5件） 決算金額 10,190千円		補助金額	5人槽	332千円		6～7人槽	414千円		8～10人槽	548千円		11～20人槽	939千円		21～30人槽	1,472千円		31～50人槽	2,037千円		浄化槽撤去費	120千円		汲取便槽撤去費	90千円
補助金額	5人槽	332千円																									
	6～7人槽	414千円																									
	8～10人槽	548千円																									
	11～20人槽	939千円																									
	21～30人槽	1,472千円																									
	31～50人槽	2,037千円																									
	浄化槽撤去費	120千円																									
	汲取便槽撤去費	90千円																									
	宅内配管工事費	300千円																									

事業名	実施 状況	事業概要	評 価
		令和5年度末の進捗状況	
事業場排水 監視	実施	事業所の公害パトロールを実施し、環境保全協定締結事業場の自主測定結果の基準値遵守を指導します。	A
		水質対象の全29事業所の公害パトロールを実施し、pHや濁り等の確認を実施するとともに、自主測定結果報告書により基準値遵守を確認しました。 ○ 令和5年度実績： 公害パトロール実施事業所数 全29事業所	
ブルーリバー 一作戰	実施	広報に掲載し周知します。 イベント、出前講座等で普及啓発を図ります。	A
		広報おおがきへの掲載や、パンフレットによるブルーリバー作戦の啓発を実践し、家庭内における生活排水対策の普及啓発を実践しました。 ○ 令和5年度実績：広報おおがき6月15日号へ掲載し、周知を図りました。また、カワゲラウオッチング等の出前講座やポスター掲示板を活用して普及啓発を図りました。	
大気汚染悪 臭防止対策	実施	大気モニタリング調査、協定事業場の排ガス調査、悪臭調査を実施します。	A
		大気モニタリング調査、協定事業場の排ガス調査、悪臭調査を実施しました。 ○ 令和5年度実績： 大気モニタリング調査 月1回 協定事業場排ガス調査 1社 悪臭調査 3社	
事業場環境 汚染対策	実施	公害パトロール等を実施し、環境保全協定対象外の工場等について、環境監視・指導体制を強化・拡充を図ります。	A
		過去1年間に大気汚染に関する苦情があった工場のパトロールを実施し、監視を図りました。 ○ 令和5年度実績：パトロール件数 3件	

事業名	実施状況	事業概要	評価
		令和5年度末の進捗状況	
自動車騒音 振動対策	実施	自動車騒音・振動の測定を実施します。	A
		令和5年12月に自動車騒音振動測定を実施しました。また、騒音規制法第18条第1項の規定に基づく自動車騒音常時監視に係る騒音調査及び面的評価業務を委託しました。 ○ 令和5年度実績：環境基準達成率 70% 道路騒音 (7/10) 5地点×2回 (昼、夜)	
事業場騒音 振動対策	実施	環境保全協定締結工場を中心とした工場の騒音・振動測定を実施します。	A
		環境保全協定締結工場を中心とした工場の騒音・振動測定を実施しました。 ○ 令和5年度実績：令和5年12月に環境保全協定締結工場の騒音測定 (昼間、夜間) を実施し、適合状況を確認しました。 実施件数：昼間 27件、夜間 24件、事業者数 27件	
公害防止協 定の見直し	実施	協定の改定により適切な運用に努めます。	A
		協定書に基づく届出や基準値遵守など適正な運用と事業者への依頼を実施しました。 ○ 令和5年度実績：環境保全協定締結事業場 43事業場	
環境リスク 低減	実施	リスクコミュニケーションの普及・啓発を図ります。	A
		○ 令和5年度実績：事業場の施設変更の際など地元自治会等へ事前説明を実施するよう地域との対話を依頼しました。	
公害発生監 視体制	実施	環境保全協定締結工場との情報交換を密にし、内容の改廃等、環境公害に関する監視体制を強化します。	A
		○ 令和5年度実績：環境保全協定締結工場と稼働状況や公害の発生状況について窓口や電話にて情報交換を行いました。	
環境モニタ リングシス テム整備	実施	機器の維持管理に努め、継続してモニタリングを行います。	A
		○ 令和5年度実績：西部測定局、赤坂測定局において、業者による点検、部品交換等を実施し、機器の維持管理に努めました。	

事業名	実施状況	事業概要	評価
		令和5年度末の進捗状況	
多様な緑化推進	実施	市庁舎において、緑のカーテンの設置を実施します。	A
		○ 令和5年度実績：建物南面に緑のカーテンを設置しました。	
	実施	生け垣設置補助金や花かざり補助金の普及啓発に努め、民有地の緑化を促進します。	A
		生け垣設置補助金や花かざり補助金の普及啓発に努め、民有地の緑化を促進しました。 ○ 令和5年度実績： 生け垣設置補助金 0件 補助金額： 0円 花かざり補助金 3件 補助金額：30,800円	
公園緑地配置	実施	公園緑地の整備に努めます。	A
		公園緑地の整備に努めました。 ○ 令和5年度実績：外濠公園整備	
民間緑地の保全	実施	指定されている緑保全地区及び保存樹木の保全を図ります。	A
		指定されている緑保全地区及び保存樹木の保全を図りました。 ○ 令和5年度実績：緑保全地区 119,850m ² (110か所)、保存樹木 1,094本	
	実施	大垣市景観条例に基づく大規模建築物等についての行為の届出制度を継続実施します。	A
		大垣市景観条例に基づく大規模建築物等についての行為の届出制度を実施しました。 ○ 令和5年度実績：届出件数 15件	
指定天然記念物（樹木等）支援	実施	指定天然記念物（樹木等）所有者への支援（補助金）と専門家による現地指導を実施します。	A
		所有者、地元関係者と共に、専門家による保護管理についての指導を受けました。また所有者への支援（補助金）を行いました。 ○ 令和5年度実績：所有者へ支援有無の照会を実施した。	
希少生物保護	実施	ホテルの保護活動をしている団体に補助を行い、保護・育成を図ります。	A
		ホテルの保護活動をしている団体に補助金を交付し、保護・育成を図りました。（環境衛生課） ○ 令和5年度実績：補助件数1件、補助金額 40,000円	

事業名	実施状況	事業概要	評価
		令和5年度末の進捗状況	
希少生物保護	実施	ホタルの保護・育成団体に補助金を助成し、保護育成を図ります。	A
		保存会に補助金を助成しました。（文化振興課） ○ 令和5年度実績：補助件数 2件、補助金額 70,000円	
水辺の生態系の向上・保全回復	実施	河川や農業用水路などに生息する生物調査を実施し、水辺の生態系の実態把握に努めます。	A
		カワゲラウオッチングを実施し、水辺の生態系の実態把握に努めました。 ○ 令和5年度実績：参加校14校、参加者635人	
	実施	環境保全型ブロックを利用した護岸を進めます。	A
		災害復旧にて環境保全型のブロックを活用しました。 ○ 令和5年度実績：施工面積 A=12.5㎡	
緑のネットワークの保全	実施	街路樹管理業務により動植物の移動や交流の場となる水辺環境や街路樹など緑のネットワークの保全に努めます。	A
		街路樹管理業務により動植物の移動や交流の場となる水辺環境や街路樹など緑のネットワークの保全に努めました。 ○ 令和5年度実績：市道71路線：約60.97km、高木：4,153本、中木：167本、低木：24,351㎡	
自然とのふれあいの機会	実施	各小中学校で、遠足や宿泊研修において、自然とふれあう体験学習を実施します。	A
		各小中学校で、遠足や宿泊研修において、自然とふれあう体験学習を実施しました。 ○ 令和5年度実績：32校実施（全小中学校）	
市民参加型自然環境調査	実施	カワゲラウオッチングを実施します。	A
		カワゲラウオッチングを実施しました。 ○ 令和5年度実績：カワゲラウオッチング 参加校14校、参加者635人	
	実施	実態調査を引き続き実施します。	A
		○ 令和5年度実績：令和5年7月29日に矢道ハリヨ学習会を実施しました。（参加者24人）	

事業名	実施状況	事業概要	評価
		令和5年度末の進捗状況	
外来生物駆除	実施	<p>チラシの掲示等により外来生物の防除について啓発を実施します。</p> <p>環境衛生課窓口掲示板にて外来生物に関するポスターを掲示し、啓発に努めました。</p> <p>○ 令和5年度実績：掲示期間 通年、掲示枚数 1枚</p>	A
	実施	<p>ジャンボタニシなどの外来生物、アレチウリなどの外来植物の駆除方法などの情報提供を行います。</p> <p>○ 令和5年度実績：国・県で作成したジャンボタニシ被害拡大防止用のリーフレットを、農協各店を通じて農事改良組合長へ配布し、班回覧を行いました。</p>	A
県産材の有効活用	実施	<p>公営住宅に県産材の使用を検討します。</p> <p>○ 令和5年度実績：県産材の使用を検討しました。</p>	A
	実施	<p>市有施設の修繕に県産材の使用を検討します。</p> <p>各施設担当課の要望により、県産材の使用を検討します。</p> <p>○ 令和5年度実績：多良峡森林公園の木製施設の改修（農林課）、木製レーキの購入（農林課）、ひまわり学園の木製備品の購入（子育て支援課）に県産材を使用しました。</p>	A
間伐等森林整備	実施	<p>間伐材ベンチの製造、木の駅プロジェクトによる間伐材搬出に対して支援します。</p>	A
		<p>木の駅上石津実行委員会が行う間伐材搬出に対して支援しました。</p> <p>○ 令和5年度実績：間伐材搬出量 180t</p>	

基本目標4 資源循環

事業名	実施状況	事業概要	評価
		令和5年度末の進捗状況	
家庭系ごみ減量普及啓発	実施	消費者が環境負荷を意識し、購入する際にごみの排出抑制など考慮して商品を選択するよう出前講座などで啓発します。	A
		消費者が環境負荷を意識し、購入する際にごみの排出抑制など考慮して商品を選択するよう出前講座などで啓発しました。 ○ 令和5年度実績：出前講座実施回数 13件	
家庭系ごみ減量・資源化	実施	家庭系ごみの減量及び資源化について普及啓発を進めます。	A
		○ 令和5年度実績：ホームページやチラシの配布にて、家庭系ごみの減量及び資源化について普及啓発を進めました。 また、株式会社土里夢ファームに委託し、270tの刈草をたい肥化しごみの減量に努めました。	
事業系ごみ減量・資源化	実施	事業所のごみ減量に対する取り組み状況を把握するため事業所調査を実施します。	A
		事業所のごみ減量に対する取り組み状況を把握するため、事業所に調査書を発送し、回答に応じ指導しました。 ○ 令和5年度実績：調査書発送事業所数 362事業所	
資源化品目の検討・拡大	実施	新たな資源化品目について検討します。	A
		○ 令和5年度実績：プラスチック資源について回収拡大を検討しました。	
資源化率の向上	実施	ごみの分別・出し方について周知等進めます。	A
		○ 令和5年度実績：資源化品目についてアプリなどで周知しました。	
リサイクル活動	実施	資源回収拠点の周知を図り、資源物の回収を実施します。	A
		○ 令和5年度実績：市ホームページで地域の資源回収拠点の周知を図り、資源物の回収をすすめました。	
堆肥化・減量化	実施	家畜堆肥について、東海農政局、岐阜県の堆肥供給者リストに掲載します。	A
		家畜堆肥について、東海農政局、岐阜県の堆肥供給者リストに掲載しました。 ○ 令和5年度実績：掲載数 3件	

事業名	実施状況	事業概要	評価
		令和5年度末の進捗状況	
食品廃棄物低減	実施	調理方法やメニューの工夫、食育の推進等により、生ごみや食べ残しの減量に努めます。	A
		○ 令和5年度実績：残量調査等の結果を把握し、次回の献立作成や調理方法に反映させ、食品廃棄物の減量に努めました。	
	実施	給食で使用する生鮮食材は一食で使用できる量を発注します。残食を把握し、次回の献立作成に反映させ、食品廃棄物を減らすことに努めます。	A
		給食で使用する生鮮食材は一食で使用できる量を発注しました。 ○ 令和5年度実績：完食実施園数公立幼保園・保育園16園で実施しました。	
	実施	広報、ホームページなどで食品廃棄物などの排出抑制を啓発します。	A
		○ 令和5年度実績：市ホームページやごみ分別アプリにおいて食品ロスの低減を啓発した。	
実施	学級活動や家庭科の授業、給食の時間等に食に関する指導を実施します。	A	
	学級活動や家庭科の授業、給食の時間等に食に関する指導を実施しました。 ○ 令和5年度実施：32校実施（全小中学校）		
環境美化活動促進	実施	環境美化活動による残土等の回収を実施します。	A
		自治会や市民団体等による清掃活動による浚渫残土を回収したほか選定枝葉なども収集し支援しました。 ○ 令和5年度実績：（清掃活動による残土回収量）269 t	
美しいまちづくり条例周知	実施	揖斐川・水門川クリーン作戦への参加を呼び掛け、環境美化活動を進めます。	A
		○ 令和5年度実績：令和5年7月29日及び令和5年9月30日に水門川クリーン作戦を実施し、環境美化活動を進めました。	

事業名	実施状況	事業概要	評価
		令和5年度末の進捗状況	
不法投棄対策	実施	広報に掲載し、普及啓発を実施します。	A
		○ 令和5年度実績：令和6年3月15日号広報おおがきにアダプト団体の募集記事を掲載し、制度の普及啓発を実施しました。	
	実施	定期的なパトロールを実施します。	A
		定期的なパトロールを実施しました。 ○ 令和5年度実績：青墓地区や上石津地区を重点的に毎週実施しました。	
直売所・朝市による地産地消	実施	朝市の計画的な実施に対し支援します。	A
		○ 令和5年度実績：朝市連絡協議会が実施する大垣芭蕉朝市の開催等の支援をしました。	
耕作放棄地の発生防止及び解消	実施	農地パトロールを実施し、担い手を中心とした耕作放棄地解消に対して支援します。	A
		農地パトロールを実施し、担い手を中心とした耕作放棄地解消に対して支援しました。	
		○ 令和5年度実績：解消面積 0.9ha	
市街地内農地の保全・活用	実施	市民菜園・高齢者健康農園を維持するとともに、栽培講習会を実施します。	A
		市民菜園・高齢者健康農園の維持管理とともに、利用者に向けた栽培講習会を実施しました。	
		○ 令和5年度実績：利用区画 372区画	

基本目標5 協働・連携

事業名	実施状況	事業概要	評価
		令和5年度末の進捗状況	
環境学習の充実	実施	たい肥でグリーンカーテン事業、出前講座などを実施し、環境学習の充実を図ります。	A
	実施	たい肥でグリーンカーテン事業、出前講座などを実施し、環境学習の充実を図りました。 ○ 令和5年度実績：たい肥でグリーンカーテン事業（12回）、出前講座（5回）、小中学校への環境学習（16回）、イベントでのコンポスト展示（4回）	
	実施	「出前講座ガイドブック」を作成・配布し、出前講座の利用を進めます。	A
	実施	「出前講座ガイドブック」を作成・配布し、出前講座の利用をPRしました。 ○ 令和5年度実績： 環境に関する講座数 行政講師 15件、市民講師 2件 環境に関する講座実施回数 行政講師 34回、市民講師 1件	
自然とふれあう機会の創出	実施	上石津の自然豊かな地域において、周りの自然で川遊びや虫取り、どんぐり拾いなど、通常の園では体験できない自然体験をします。	A
	実施	○ 令和5年度実績：公立保育園7園で実施しました。	
体験型環境教育の推進	実施	ふるさと大垣科や総合的な学習の時間などで専門知識を持った地域人材を活用し、地域の環境をいかした学習を実施します。	A
	実施	ふるさと大垣科や総合的な学習の時間などで、ハリヨ・蛍・名水保存会等の地域人材を活用し、地域の環境について講座を行うなどの学習を実施しました。 ○ 令和5年度実績：環境学習実施校数22校（全小学校）	
	実施	各小中学校で、クリーンセンター等の施設見学や、地域の実態をふまえた体験学習などの環境教育を実施します。	A
	実施	各小中学校で、クリーンセンター等の施設見学や、地域の実態をふまえた体験学習などの環境教育を実施しました。 ○ 令和5年度実績：32校（全小中学校）	

事業名	実施状況	事業概要	評価
		令和5年度末の進捗状況	
体験型環境教育の推進	実施	市民団体や地域住民との協働によるカワゲラウオッチングなど、小中学校と連携した体験型の環境教育を実施します。	A
		カワゲラウオッチングを実施しました。 ○ 令和5年度実績：カワゲラウオッチング 参加校 14校、参加者数 635人	
	実施	ふるさと生き物調査などの体験型の環境教育を実施します。	A
		ふるさと生き物調査を実施しました。 ○ 令和5年度実績：令和5年7月22日 牧田川一之瀬橋周辺 5家族（12人）参加 （秋は開催場所にてクマが出たため中止）	
	実施	「元気ハツラツ市」において、キノコ菌打ち体験や木と親しむ木のふれあいコーナーを設置して、体験を通じた環境教育を実施します。	A
		○ 令和5年度実績：花と緑のふれあい展、かがやきライフタウン大垣2023秋のつどい・春のつどい、おおがき農産物フェアにおいて木育体験事業を実施した。	
環境情報の収集・発信	実施	インターネットや広報などを活用し、積極的に環境情報の発信を進めます。	A
		市ホームページや広報おおがきなどを活用し、積極的に環境情報の発信を進めました。 ○ 令和5年度実績： 市環境関連ホームページアクセス数 237,476回	
	実施	ホームページ等により市民に分かりやすく情報発信します。	A
		○ 令和5年度実績：市ホームページやごみ分別アプリにより情報発信しました。	
	実施	7～8月（夏休み）、児童・親子の来館者向けに、「自分が取り組んでいるSDGs」について募集します。	A
		○ 令和5年度実績：令和5年6月25日、イオンモール大垣にて、講師を招いて、SDGsに関する本の読み聞かせを実施しました。 令和5年11月3日、大垣西濃信用金庫にて、SDGsイベント展示に参加（SDGsに関する本や絵を展示）しました。	

事業名	実施状況	事業概要	評価
		令和5年度末の進捗状況	
環境イベントの定例化	実施	SDG s 関連イベントを開催します。	A
		○ 令和5年度：環境SDG s おおがき未来創造事業でスタートアップ講座等を1年通して開催しました。環境SDG s おおがき未来創造フェスティバルを令和6年3月16日に実施しました。	
環境意識の高揚	実施	SDG s 関連イベントを通して市民や事業者への環境意識の高揚を図ります。	A
		環境SDG s おおがき未来創造フェスティバルを行い、市民や事業者への環境意識の高揚を図りました。 ○ 令和5年度実績：参加人数 3,000人	
環境家計簿、グリーン購入の普及	実施	大垣市環境市民会議を通してダンボールコンポスト等の環境配慮商品の普及・啓発を図ります。	A
		大垣市環境市民会議を通してダンボールコンポスト等の環境配慮商品の普及・啓発を実施しました。 ○ 令和5年度実績： 基材の販売個数 (市内) 605個、(市外) 402個 木枠型コンポスト 2基、バッグ式コンポスト 8セット	
環境配慮事業所の拡充	実施	各種環境イベント等への環境保全協定工場の出席等により、公害防止及び廃棄物の減量等の意識向上を図ります。	A
		環境SDG s おおがき未来創造フェスティバル及びグリーン電力証書販売について環境保全協定工場にチラシやポスターを配布し、周知を通じて環境意識の向上を行いました。 ○ 令和5年度実績： 公害防止協定工場へのチラシ・ポスター配布枚数 チラシ 92枚、ポスター 2枚	
環境行動支援	実施	環境活動を実施する団体に対する補助を実施します。	A
		環境活動を実施する団体に対して補助を実施しました。 ○ 令和5年度実績：補助件数 3件、補助金額 1,056,000円 (大垣市環境市民会議、大垣市南市橋杭瀬川のホタルを守る会、加賀野名水保存会)	

事業名	実施 状況	事業概要	評 価
		令和5年度末の進捗状況	
環境行動支 援	実施	市民環境賞の応募を実施し、環境に対する取り組みを評価しま す。	A
		市民環境賞の応募を実施し、環境に対する取り組みを評価しま した。 ○ 令和5年度実績：市民環境賞応募件数 4件	
	実施	環境行動、環境活動を支援します。	A
		自治会や市民団体等による清掃活動による浚渫残土を回収した ほか選定枝葉なども収集し、支援しました。 ○ 令和5年度実績：（清掃活動による残土回収量）269 t	
環境行動の 評価・見直 し	実施	環境審議会や環境保全推進本部などにより、環境行動を評価し、 見直しを実施します。	A
		環境審議会や環境保全推進本部などにより、環境行動を評価し、 見直しを実施しました。 ○ 令和5年度実績：各会議開催回数 環境審議会 1回、環境保全推進本部 1回 環境保全推進本部幹事会 1回	
パートナ ーシッ プによ る支援	実施	環境活動を実施する団体に対して補助を実施します。	A
		環境活動を実施する団体に対して補助を実施しました。 ○ 令和5年度実績：補助件数 3件、補助金額 1,056,000円 （大垣市環境市民会議、大垣市南市橋杭瀬川のホタルを守る 会、加賀野名水保存会）	
	実施	環境に関する市民活動団体、NPO法人の設立や活動に対する 支援を行います。	A
		環境に関する市民活動団体、NPO法人の設立や活動に対する 支援を行いました。 ○ 令和5年度実績： 環境に関する登録団体数（令和6年4月1日現在） 市民活動団体 15団体、NPO法人 1団体	

事業名	実施状況	事業概要	評価
		令和5年度末の進捗状況	
パートナーシップによる支援	実施	天然記念物の保全団体に対し補助金の交付と専門家による現地指導を受けます。	A
		天然記念物の保全団体に対し補助金交付しました。また専門家による現地指導を受けました。 ○ 令和5年度実績：補助件数 5件、補助金額 合計200,000円	
自治会環境活動支援	実施	環境美化活動を実施する自治会等に対して支援します。	A
		○ 令和5年度実績：環境美化活動を実施する自治会等に対して清掃用具の貸与やボランティア保険の加入等の支援を実施しました。 美しいまちづくり推進団体登録数 41団体 (1,579人)	
	実施	資源回収に努めた自治会等に奨励金で支援を進めます。	A
		資源回収に努めた自治会等に奨励金で支援を実施しました。 ○ 令和5年度実績： 奨励金支援実施団体 344団体、合計金額 6,898,212円	
環境リーダー、環境ボランティアの支援・育成	実施	大垣市環境市民会議等と連携し、地域の特色や個性をいかした環境行動につながる講座の開催や、ネットワークづくりなど環境リーダー、環境ボランティアの支援・育成を実施します。	A
		水門川いきいきプロジェクトにおいて、水質調査、ハリヨの学習、大垣市の川についての学習会などの出前講座を学校対象に実施しました。また、大垣市環境市民会議において、ユニー(株)と協力し、1年を通してアクアウォーク大垣内の庭園でハーブを栽培しました。 ○ 令和5年度実績： 水門川いきいきプロジェクト出前講座 11回 グリーンサポーター活動 10回	
広域的環境ネットワークづくり	実施	長良川流域環境ネットワーク、木曽三川流域生態系ネットワークなど、広域環境について連携を図ります。	A
		長良川流域環境ネットワーク、木曽三川流域生態系ネットワークなど、会議等に参加しました。 ○ 令和5年度実績：会議参加数 4回（書面開催、WEB会議） エコネットカフェ2023 令和5年12月10日	

第3章 大垣市の取り組みに対する市民アンケート調査結果（抜粋）

1 調査結果の概要

1-1 調査の目的

本調査は、大垣市未来ビジョンに基づくまちづくりを継続的に進めていくにあたり、本市の取り組み等に対する市民の意見や意向を把握するため、市内に在住する一般市民に対して実施しました。

1-2 調査の設計

- (1) 対象者数 3,000人
- (2) 調査対象 市内に在住する満18歳以上の男女
- (3) 抽出方法 無作為抽出
- (4) 調査方法 郵送配付し、郵送返送又はインターネットによる無記名アンケート方式
- (5) 調査期間 令和5年4月21日（金）～令和5年5月15日（月）

1-3 回収結果

1,007人（回収率：33.6%）

1-4 報告書の見方

- (1) 比率は、すべてパーセンテージで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。そのため合計が100%にならないことがあります。
- (2) 本報告書の表・グラフ等の見出し及び文章中での回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合があります。

2 調査結果の分析

2-1 調査対象者の属性

(1) 対象者の性別（問1）

あなたの性別は？

「対象者の性別」についてたずねたところ、「男性」が45.9%、「女性」が52.6%、「無回答」が1.5%となっています。

No.	選択項目	回答数	割合
1	男性	462	45.9%
2	女性	530	52.6%
3	回答しない	10	1.0%
3	無回答	5	0.5%
	合計	1,007	100.0%

(2) 対象者の年齢（問2）

あなたの年齢は？（令和5年4月1日現在の満年齢でお答えください。）

「対象者の年齢」についてたずねたところ、「70歳以上」が23.1%と最も多く、次いで「60～69歳」（18.4%）、「50～59歳」（18.3%）となっています。

No.	選択項目	回答数	割合
1	29歳以下	91	9.0%
2	30～39歳	127	12.6%
3	40～49歳	180	17.9%
4	50～59歳	184	18.3%
5	60～69歳	185	18.4%
6	70歳以上	233	23.1%
7	無回答	7	0.7%
	合計	1,007	100.0%

(3) 対象者の職業（問3）

あなたの職業は？

対象者の職業」についてたずねたところ、「会社員」が31.9%と最も多く、と最も多く、次いで「家事専業・無職」（30.2%）、「パート・アルバイト」（17.9%）となっています。

No.	選択項目	回答数	割合
1	会社員	321	31.9%
2	公務員	59	5.9%
3	自営業	72	7.1%
4	学生	29	2.9%
5	パート・アルバイト	180	17.9%
6	その他	31	3.1%
7	家事専業・無職	304	30.2%
8	無回答	11	1.1%
	合計	1,007	100.0%

2-2 大垣市の取り組みに対する満足度・重要度について

6つの未来のピース毎に定めた分野の取り組みに対する満足度・重要度（問17）

市の取り組みについて、現状における「満足度」と、今後の取り組みとしての「重要度」をおたずねします。【各項目について現在の満足度、今後の重要度で各1つ選択】

(1) 分析方法

① 加重平均値

満足度と重要度については、5段階評価による各選択肢を点数化し、各選択肢の回答数にその点数を乗じ、総回答者数で除することにより、加重平均値を算出し分析しました。

なお、加重平均値については、小数点以下第3位を四捨五入し算出しています。

したがって、回答者全員が「①：満足している」を選択した場合の加重平均値は、最も大きい「2.00」となり、逆に、回答者全員が「⑤：不満である」を選択した場合の加重平均値は、最も小さい「-2.00」となります。つまり、加重平均値が「2.00」に近づくほど、満足度が高い、または、重要度が高いと言えます。

満足度			重要度		
選択肢	点数		選択肢	点数	
① 満足している	+2点		① 重要である	+2点	
② やや満足している	+1点		② やや重要である	+1点	
③ ふつう	0点		③ ふつう	0点	
④ やや不満である	-1点		④ あまり重要でない	-1点	
⑤ 不満である	-2点		⑤ 重要でない	-2点	

加重平均値	評価
2.00	満足度・重要度が高い
1.00	↑
0.00	ふつう
-1.00	↓
-2.00	満足度・重要度が低い

② ニーズ度

市民ニーズを把握するため、満足度及び重要度の加重平均値からニーズ度を算出しました。ニーズ度が高いほど、今後、優先的かつ重点的に取り組むべき分野と言えます。

回答者全員が重要度で「①：重要である」を選択（加重平均値は2.00となる）し、満足度で「⑤：不満である」を選択（加重平均値は-2.00となる）した場合は、ニーズ度が最も大きくなり、逆に、重要度で「⑤：重要でない」を選択（加重平均値は-2.00となる）し、満足度で「①：満足している」を選択（加重平均値は2.00となる）した場合は、ニーズ度が最も小さくなります。

$\text{ニーズ度} = \text{重要度（加重平均値）} - \text{満足度（加重平均値）}$

〔設問内容〕

未来のピース	分野	No.	設問項目
ピース1 みんなが住みやすいまち (都市基盤)	土地利用・都市空間	1	地域の特性に応じた土地利用や都市空間の整備
	住生活	2	安心してくらせる居住環境の整備
	景観・公園・緑化	3	良好な景観の形成や公園・緑地の整備
	水道・下水道	4	安全で安心な水道水の供給や下水道の計画的な整備
	総合交通・道路	5	安全で利便性の高い公共交通や道路環境の整備
	移住・定住	6	若者をはじめ、子育て世代の移住・定住の促進
	スマートシティ	7	デジタル化による市民サービスの向上や安全・安心なデジタル環境の整備
ピース2 みんなが元気なまち (産業振興)	産業	8	産業活性化の推進や産業人材の確保・育成
	商業	9	中心市街地や商業の活性化
	農業	10	農業の振興や活性化
	森林・林業	11	森林の整備や森林資源の利活用
	観光	12	観光の振興や観光客受入体制の充実
	労働	13	安心して働くことのできる就労環境の整備
ピース3 みんなが安心するまち (生活環境)	治水	14	水害・土砂災害対策の推進
	防災	15	防災力の向上や防災体制の整備、災害時支援体制の充実
	消防・救急	16	消防体制や救急救助体制の充実
	生活安全	17	防犯対策や交通安全対策、消費者の安全対策の充実
	生活環境	18	生活環境保全の推進や環境衛生の向上、廃棄物処理体制の充実
	脱炭素	19	地球環境保全の推進、ごみの減量やリサイクルの推進

未来のピース	分野	No.	設問項目
ピース4 みんながあつたかい まち (健康・福祉・人権)	健康	20	健康づくりの推進や感染症予防の促進
	医療	21	良質な医療の提供や救急医療体制の充実
	地域福祉	22	地域福祉の推進や福祉施設の充実
	障がい者(児)福祉	23	障がい者の自立した暮らしへの支援や社会参加の促進、障がい児への支援
	高齢者福祉	24	高齢者の生きがい・健康づくりの推進や自立した生活への支援
	社会保障	25	社会保障制度の適正な運用や生活困窮者の自立への支援
	人権	26	人権意識の高揚に向けた人権尊重や人権教育の推進
	男女共同参画	27	男女がお互いを尊重しあえるまちの実現に向けた男女共同参画の推進
	多文化共生	28	国籍にとらわれずお互いを尊重しあえるまちの実現に向けた多文化共生の推進
ピース5 みんなが成長するまち (人づくり)	子育て支援	29	母子保健サービスや保育・幼児教育、子育て支援などの充実
	青少年健全育成	30	健全な青少年の育成や青少年育成施設の充実
	学校教育	31	学力向上の推進や健全な心と体の育成、多様なニーズに応じた教育の推進
	生涯学習	32	生涯にわたり学び、生きがいをもって活動的に暮らせる環境の整備
	生涯スポーツ	33	生涯スポーツや競技スポーツの振興、スポーツ環境の充実
	文化振興	34	芸術文化の振興や文化財の活用、ふるさと文化の高揚
ピース6 みんなが主役のまち (市民協働)	市民協働	35	市民協働の推進や地域自治活動の促進
	行政経営	36	開かれた行政や行政資源の最適化及び効率化の推進

〔環境保全施策に対する市民アンケート結果〕

項目	令和5年アンケート結果	令和4年（前回）アンケート結果
満足度	7位（ 0.20） ↑	22位（ 0.08） ↓
重要度	9位（ 1.05） ↑	13位（ 0.95） ↑
ニーズ度	15位（ 0.84） ↓	12位（ 0.87） ↑

**大垣市エコ水都環境プラン
実績報告 2023**

令和6年10月

発行 岐阜県大垣市生活環境部

編集 環境衛生課

岐阜県大垣市丸の内2丁目29番地

電話 (0584) 47-8563